

お お た 区 議 会
年 報

—令和4年版—

2022

大田区議会

目 次

1 議会構成

(1) 議員	
① 議員数	1
② 会派別議員数	1
③ 議員名簿	1
(2) 会議	
① 本会議	3
② 常任委員会	3
③ 議会運営委員会	4
④ 特別委員会	4
⑤ 委員会所属議員名簿	5

2 議会活動

(1) 会議の開催	
① 本会議	11
② 委員会	11
③ その他の会議	11
(2) 議案等	
① 議決件数	12
② 議決事項一覧	13
(3) 質問、質疑	
① 定例会の質問（通告）一覧	26
② 予算・決算特別委員会の質疑（通知）一覧	34
(4) 請願・陳情	
① 審査件数と処理内訳	37
② 請願・陳情一覧	38
(5) 決議・意見書	42
(6) 視察	
① 委員会行政視察	46
② 行政視察受入	48
(7) 親善訪問調査	
① 期間、場所等	50
② 報告書	51
(8) その他	
① 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて	61
② 議会におけるICT化の取り組み	63
③ 防災訓練	64
④ 議員研修会	65

3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員	
(1) 歴代議長	66
(2) 歴代副議長	68
(3) 歴代議員選出監査委員	70
4 予算等	
(1) 議会費（当初予算）	72
(2) 議員報酬	72
(3) 議会刊行物	73
5 事務局（組織図と分掌事務）	74

1 議会構成

(1) 議員 令和元年5月1日就任（平成31年4月21日選挙）

①議員数 条例定数50人（条例改正 平成9年10月）

現員数 44人（令和4年12月31日現在）

②会派別議員数

令和4年12月31日現在

会派名	略称	構成人員（人）			ダイヤルイン	内線
		総数	男性	女性		
自由民主党大田区民連合	自民	15	14	1	5744-1480	4041～4050
大田区議会公明党	公明	10	7	3	5744-1488	4051～4057
日本共産党大田区議団	共産	7	5	2	5744-1477	4061～4066
令和大田区議団（無所属5+ 維新1）	令和	6	6	0	5744-1718	4071、4084 4090、4091
立憲民主党大田区議団	立憲	3	2	1	5744-1475	4081～4083
フェアな民主主義	フェア民	1	0	1	5744-1469	4094
大田無所属の会	無所属	1	1	0	5744-1675	4092
東京政策フォーラム	フォーラム	1	1	0	5744-1285	4093
合計		44	36	8		

③議員名簿

議長 鈴木 隆之（自民）

副議長 田村 英樹（公明）

令和4年12月31日現在

会派略称	議席 番号	氏名	郵便番号	住所	電話番号
自民	1	田中 一吉	144-0051	大田区西蒲田六丁目10番3号	3736-3234
自民	2	松原 秀典	146-0082	大田区池上七丁目19番22号	3753-1465
自民	3	高瀬 三徳	143-0026	大田区西馬込二丁目31番3号	3777-1941
自民	4	岸田 哲治	145-0062	大田区北千束一丁目13番3号	3718-0987
自民	5	大森 昭彦	144-0031	大田区東蒲田一丁目12番16号	3738-4991
自民	6	塩野目正樹	143-0015	大田区大森西五丁目10番7号	3766-5639
自民	7	押見 隆太	146-0084	大田区南久が原二丁目11番11号	3750-0202
自民	8	鈴木 隆之	146-0085	大田区久が原三丁目39番8-605号	6410-3778
自民	9	湯本良太郎	143-0011	大田区大森本町二丁目31番10号	3765-1464
自民	10	伊佐治 剛	144-0055	大田区仲六郷二丁目11番3-205号	6424-8243
自民	11	深川 幹祐	143-0024	大田区中央六丁目15番1号	3751-9748
自民	12	長野 元祐	145-0074	大田区東嶺町12番9-301号	6410-6577
自民	13	渡司 幸	144-0047	大田区萩中二丁目11番5号1F	5735-5226
自民	14	高山 雄一	146-0093	大田区矢口一丁目28番18号	3759-8852
自民	15	海老澤圭介	146-0081	大田区仲池上一丁目17番12号	6410-2144

会派略称	議席 番号	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
公 明	16	松本 洋之	144-0051	大田区西蒲田七丁目48番1-702号	3730-5390
公 明	17	岡元 由美	143-0023	大田区山王一丁目41番5-401号	6753-5079
	18	(欠番)			
公 明	19	広川恵美子	146-0093	大田区矢口一丁目21番14号	5482-1559
公 明	20	秋成 靖	144-0035	大田区南蒲田三丁目16番11号	5736-4496
	21	(欠番)			
公 明	22	田村 英樹	144-0045	大田区南六郷一丁目15番18号	3739-3123
公 明	23	大橋 武司	143-0015	大田区大森西二丁目25番5-505号	3765-8783
公 明	24	小峰 由枝	143-0014	大田区大森中一丁目18番20-602号	6404-9393
公 明	25	椿 真一	143-0024	大田区中央八丁目20番12-602号	6410-2874
公 明	26	田島 和雄	144-0044	大田区本羽田三丁目2番18号	3743-0360
公 明	27	末安 広明	145-0076	大田区田園調布南12番7号	3758-0527
共 産	28	大竹 辰治	144-0051	大田区西蒲田五丁目9番12号	3735-2611
共 産	29	清水 菊美	144-0033	大田区東糀谷一丁目13番2-501号	3745-6371
共 産	30	黒沼 良光	144-0035	大田区南蒲田三丁目4番2号	3735-6467
共 産	31	佐藤 伸	143-0016	大田区大森北三丁目26番7号	3298-6362
共 産	32	菅谷 郁恵	143-0012	大田区大森東三丁目9番21号	6459-6386
	33	(欠番)			
共 産	34	荒尾 大介	146-0093	大田区矢口一丁目25番22-401号	6325-9454
共 産	35	杉山 公一	144-0056	大田区西六郷二丁目2番1号	3730-3480
令 和	36	荒木 秀樹	143-0023	大田区山王三丁目1番13号	3771-4719
令 和	37	犬伏 秀一	144-0052	大田区蒲田五丁目34番10号	5711-6980
令 和	38	三沢清太郎	143-0023	大田区山王三丁目31番21-402号	3776-2342
令 和	39	松原 元	145-0064	大田区上池台三丁目25番3号	6425-7666
令 和	40	須藤 英児	143-0023	大田区山王二丁目17番15号	080-6744-2211
令 和	41	植田 智一	144-0052	大田区蒲田五丁目36番6-202号	090-1042-1222
	42	(欠番)			
	43	(欠番)			
立 憲	44	小川あずさ	146-0084	大田区南久が原二丁目22番13号	080-4125-7923
立 憲	45	庄嶋 孝広	143-0024	大田区中央三丁目8番1-101号	4361-5014
立 憲	46	平野 春望	144-0052	大田区蒲田一丁目12番34-804号	050-5585-3025
フェア民	47	奈須 利江	145-0062	大田区北千束一丁目11番8号	6303-8671
無所属	48	馬橋 靖世	145-0065	大田区東雪谷五丁目24番13号	090-7407-9021
フォーラム	49	荻野 稔	146-0093	大田区矢口二丁目11番26号	090-9232-2059
	50	(欠番)			

(2) 会議

①本会議

定例会の回数は、条例で年4回と定められており、2月、6月、9月、11月に招集される。
その他、必要に応じて臨時会が開かれる。

②常任委員会

委員会の名称、定数及び所管・特定事件は表のとおりである。委員の任期は1年である。

令和4年12月31日現在

名 称	委員定数	所 管	特 定 事 件
総務財政委員会	9人	企画経営部、総務部、区民部、会計管理室、選挙管理委員会及び監査委員に関すること並びに他の常任委員会に属しないこと	1 区政の企画及び財政運営について 2 区政の総務について 3 区民生活について 4 会計管理室、選挙管理委員会及び監査委員の事務事業について 5 埋立地の帰属問題について
地域産業委員会	9人	地域力推進部、スポーツ・文化・国際都市部及び産業経済部に関すること	1 地域振興について 2 国際都市について 3 文化振興について 4 産業振興について
健康福祉委員会	9人	福祉部及び健康政策部に関すること	1 保健衛生について 2 社会福祉について 3 社会保障について 4 健康増進について
まちづくり環境委員会	9人	まちづくり推進部、鉄道・都市づくり部、空港まちづくり本部、都市基盤整備部及び環境清掃部に関すること	1 都市基盤整備について 2 建設事業について 3 環境保全について 4 清掃及びリサイクルについて
こども文教委員会	9人	こども家庭部及び教育委員会に関すること	1 学校教育について 2 社会教育について 3 児童福祉について

③議会運営委員会

所属議員が4人以上の会派（交渉会派）から4人に1人の割合で選出された委員で構成される。委員の任期は1年である。※令和4年10月14日から令和5年4月30日までに限り、所属議員が4人以上の会派（交渉会派）から3人に1人の割合で選出

令和4年12月31日現在

名 称	委員定数	特 定 事 件
議 会 運 営 委 員 会	13人 (現員12人)	1 議会の運営について 2 議会日程の調整について 3 会議規則・委員会条例等の取扱いについて 4 議長の諮問に関する事項について

④特別委員会

特に必要と認めた場合に議会の議決で設置され、委員の定数も議決で定められる。

令和4年12月31日現在

名 称	委員定数	調 査 事 件
オリ ン ピ ッ ク パ ラ リ ン ピ ッ ク 観 光 推 進 特 別 委 員 会	11人	1 スポーツ資源の活用による地域活性化について 2 観光のまちづくりについて 3 東京オリンピック・パラリンピックについて
交 通 臨 海 部 活 性 化 特 別 委 員 会	10人	1 交通網整備等に関する対策について 2 自転車対策及び交通安全について 3 臨海部（羽田空港に関する事業を除く）の開発及び産業活性化等に関する事業について 4 京急空港線加算運賃について
羽 田 空 港 対 策 特 別 委 員 会	10人	1 羽田空港の跡地利用について 2 羽田空港の空港機能について 3 羽田空港に関する事業について
防 災 安 全 対 策 特 別 委 員 会	10人	1 防災対策について 2 危機管理対策について 3 地域防犯対策について
予 算 特 別 委 員 会 (設置期間) 4. 2. 24～3. 25	議長を除く 全議員	1 次年度各会計予算について
決 算 特 別 委 員 会 (設置期間) 4. 9. 14～10. 12	議長及び議員 選出監査委員 を除く全議員	1 前年度各会計決算について

⑤委員会所属議員名簿

令和4年5月27日まで

名 称		委 員 長	副委員長	委 員
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数10人)	渡司 幸	田島 和雄	伊佐治 剛 長野 元祐 岡元 由美 ※福井 亮二 荒尾 大介 ※三沢清太郎 平野 春望 荻野 稔
	地域産業 委員会 (定数10人)	田村 英樹	深川 幹祐	高瀬 三徳 海老澤圭介 末安 広明 ※黒沼 良光 ※荒木 秀樹 小川あずさ 馬橋 靖世
	健康福祉 委員会 (定数10人)	湯本良太郎	植田 智一	押見 隆太 鈴木 隆之 ※広川恵美子 秋成 靖 ※佐藤 伸 杉山 公一 庄嶋 孝広 奈須 利江
	まちづくり環境 委員会 (定数10人)	松原 秀典	椿 真一	田中 一吉 大森 昭彦 松本 洋之 ※大竹 辰治 ※犬伏 秀一 松原 元
	こども文教 委員会 (定数10人)	大橋 武司	菅谷 郁恵	※岸田 哲治 塩野目正樹 高山 雄一 小峰 由枝 清水 菊美 ※須藤 英児
議会運営委員会 (定数13人)		海老澤圭介	末安 広明	湯本良太郎 伊佐治 剛 田村 英樹 清水 菊美 佐藤 伸 犬伏 秀一
特 別 委 員 会	オリンピック パラリンピック 観光推進特別委員会 (定数12人)	広川恵美子	岸田 哲治	田中 一吉 伊佐治 剛 椿 真一 佐藤 伸 ※菅谷 郁恵 ※松原 元 須藤 英児 平野 春望
	交通臨海部活性化 特別委員会 (定数11人)	三沢清太郎	大森 昭彦	湯本良太郎 海老澤圭介 ※大橋 武司 末安 広明 大竹 辰治 ※福井 亮二 植田 智一 小川あずさ 荻野 稔
	羽田空港対策 特別委員会 (定数11人)	高山 雄一	庄嶋 孝広	松原 秀典 深川 幹祐 渡司 幸 ※秋成 靖 田島 和雄 黒沼 良光 ※杉山 公一 犬伏 秀一
	防災安全対策 特別委員会 (定数12人)	長野 元祐	清水 菊美	高瀬 三徳 塩野目正樹 ※田村 英樹 小峰 由枝 荒尾 大介 ※荒木 秀樹 奈須 利江 馬橋 靖世

1 委員氏名順は議席番号順

2 委員氏名の前の※印は理事

3 上記特別委員会に正副議長及び議員選出監査委員の計4名は属さない。

令和4年5月27日から9月14日まで

名 称		委 員 長	副委員長	委 員
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数9人)	高瀬 三徳	小峰 由枝	湯本良太郎 深川 幹祐 田村 英樹 ※大竹 辰治 菅谷 郁恵 ※犬伏 秀一 小川あずさ
	地域産業 委員会 (定数9人)	秋成 靖	田中 一吉	長野 元祐 高山 雄一 広川恵美子 ※佐藤 伸 ※荒木 秀樹 平野 春望 馬橋 靖世
	健康福祉 委員会 (定数9人)	伊佐治 剛	三沢清太郎	塩野目正樹 鈴木 隆之 ※大橋 武司 田島 和雄 ※清水 菊美 杉山 公一 荻野 稔
	まちづくり環境 委員会 (定数9人)	大森 昭彦	岡元 由美	岸田 哲治 押見 隆太 椿 真一 ※黒沼 良光 ※須藤 英児 庄嶋 孝広 奈須 利江
	こども文教 委員会 (定数9人)	末安 広明	福井 亮二	松原 秀典 ※渡司 幸 海老澤圭介 松本 洋之 荒尾 大介 ※松原 元 植田 智一
議会運営委員会 (定数13人)		長野 元祐	松本 洋之	湯本良太郎 高山 雄一 末安 広明 佐藤 伸 福井 亮二 犬伏 秀一
特 別 委 員 会	オリンピック パラリンピック 観光推進特別委員会 (定数11人)	椿 真一	深川 幹祐	長野 元祐 大橋 武司 清水 菊美 ※荒尾 大介 三沢清太郎 ※松原 元 小川あずさ 馬橋 靖世 荻野 稔
	交通臨海部活性化 特別委員会 (定数10人)	松原 秀典	大竹 辰治	高瀬 三徳 高山 雄一 海老澤圭介 ※松本 洋之 小峰 由枝 佐藤 伸 ※植田 智一 奈須 利江
	羽田空港対策 特別委員会 (定数10人)	岸田 哲治	須藤 英児	大森 昭彦 湯本良太郎 渡司 幸 ※岡元 由美 末安 広明 福井 亮二 ※杉山 公一 平野 春望
	防災安全対策 特別委員会 (定数10人)	犬伏 秀一	押見 隆太	田中 一吉 伊佐治 剛 ※広川恵美子 秋成 靖 黒沼 良光 ※菅谷 郁恵 荒木 秀樹 庄嶋 孝広

- 1 委員氏名順は議席番号順
- 2 委員氏名の前の※印は理事
- 3 理事選任日…常任委員会 (4.6.17)、特別委員会 (4.6.22)
- 4 上記特別委員会に正副議長及び議員選出監査委員の計4名は属さない。

令和4年9月14日から10月12日まで

名 称		委 員 長	副委員長	委 員
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数9人)	高瀬 三徳	小峰 由枝	湯本良太郎 深川 幹祐 田村 英樹 ※清水 菊美 菅谷 郁恵 ※犬伏 秀一 小川あずさ
	地域産業 委員会 (定数9人)	秋成 靖	田中 一吉	長野 元祐 高山 雄一 広川恵美子 ※佐藤 伸 ※荒木 秀樹 平野 春望 馬橋 靖世
	健康福祉 委員会 (定数9人)	伊佐治 剛	三沢清太郎	塩野目正樹 鈴木 隆之 ※大橋 武司 田島 和雄 大竹 辰治 ※杉山 公一 荻野 稔
	まちづくり環境 委員会 (定数9人)	大森 昭彦	岡元 由美	岸田 哲治 押見 隆太 椿 真一 ※黒沼 良光 ※須藤 英児 庄嶋 孝広 奈須 利江
	こども文教 委員会 (定数9人)	末安 広明	福井 亮二	松原 秀典 ※渡司 幸 海老澤圭介 松本 洋之 荒尾 大介 ※松原 元 植田 智一
議会運営委員会 (定数13人)		長野 元祐	松本 洋之	湯本良太郎 高山 雄一 末安 広明 佐藤 伸 福井 亮二 犬伏 秀一
特 別 委 員 会	オリンピック パラリンピック 観光推進特別委員会 (定数11人)	椿 真一	深川 幹祐	長野 元祐 大橋 武司 清水 菊美 ※荒尾 大介 三沢清太郎 ※松原 元 小川あずさ 馬橋 靖世 荻野 稔
	交通臨海部活性化 特別委員会 (定数10人)	松原 秀典	大竹 辰治	高瀬 三徳 高山 雄一 海老澤圭介 ※松本 洋之 小峰 由枝 佐藤 伸 ※植田 智一 奈須 利江
	羽田空港対策 特別委員会 (定数10人)	岸田 哲治	須藤 英児	大森 昭彦 湯本良太郎 渡司 幸 ※岡元 由美 末安 広明 福井 亮二 ※杉山 公一 平野 春望
	防災安全対策 特別委員会 (定数10人)	犬伏 秀一	押見 隆太	田中 一吉 伊佐治 剛 ※広川恵美子 秋成 靖 黒沼 良光 ※菅谷 郁恵 荒木 秀樹 庄嶋 孝広

- 1 委員氏名順は議席番号順
- 2 委員氏名の前の※印は理事
- 3 上記特別委員会に正副議長及び議員選出監査委員の計4名は属さない。

令和4年10月12日から10月14日まで

名 称		委 員 長	副委員長	委 員
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数9人)	高瀬 三徳	小峰 由枝	湯本良太郎 深川 幹祐 田村 英樹 ※清水 菊美 菅谷 郁恵 ※犬伏 秀一 小川あずさ
	地域産業 委員会 (定数9人)	秋成 靖	田中 一吉	長野 元祐 高山 雄一 広川恵美子 ※佐藤 伸 ※荒木 秀樹 平野 春望 馬橋 靖世
	健康福祉 委員会 (定数9人)	伊佐治 剛	三沢清太郎	塩野目正樹 鈴木 隆之 ※大橋 武司 田島 和雄 大竹 辰治 ※杉山 公一 荻野 稔
	まちづくり環境 委員会 (定数9人)	大森 昭彦	岡元 由美	岸田 哲治 押見 隆太 椿 真一 ※黒沼 良光 ※須藤 英児 庄嶋 孝広 奈須 利江
	こども文教 委員会 (定数9人)	末安 広明		松原 秀典 ※渡司 幸 海老澤圭介 松本 洋之 荒尾 大介 ※松原 元 植田 智一
議会運営委員会 (定数13人)		長野 元祐	松本 洋之	湯本良太郎 高山 雄一 末安 広明 佐藤 伸 犬伏 秀一
特 別 委 員 会	オリンピック パラリンピック 観光推進特別委員会 (定数11人)	椿 真一	深川 幹祐	長野 元祐 大橋 武司 清水 菊美 ※荒尾 大介 三沢清太郎 ※松原 元 小川あずさ 馬橋 靖世 荻野 稔
	交通臨海部活性化 特別委員会 (定数10人)	松原 秀典	大竹 辰治	高瀬 三徳 高山 雄一 海老澤圭介 ※松本 洋之 小峰 由枝 佐藤 伸 ※植田 智一 奈須 利江
	羽田空港対策 特別委員会 (定数10人)	岸田 哲治	須藤 英児	大森 昭彦 湯本良太郎 渡司 幸 ※岡元 由美 末安 広明 ※杉山 公一 平野 春望
	防災安全対策 特別委員会 (定数10人)	犬伏 秀一	押見 隆太	田中 一吉 伊佐治 剛 ※広川恵美子 秋成 靖 黒沼 良光 ※菅谷 郁恵 荒木 秀樹 庄嶋 孝広

- 1 委員氏名順は議席番号順
- 2 委員氏名の前の※印は理事
- 3 上記特別委員会に正副議長及び議員選出監査委員の計4名は属さない。

令和4年10月14日から12月31日現在

名 称		委 員 長	副委員長	委 員
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数9人)	高瀬 三徳	小峰 由枝	湯本良太郎 深川 幹祐 田村 英樹 ※清水 菊美 菅谷 郁恵 ※犬伏 秀一 小川あずさ
	地域産業 委員会 (定数9人)	秋成 靖	田中 一吉	長野 元祐 高山 雄一 広川恵美子 ※佐藤 伸 ※荒木 秀樹 平野 春望 馬橋 靖世
	健康福祉 委員会 (定数9人)	伊佐治 剛	三沢清太郎	塩野目正樹 鈴木 隆之 ※大橋 武司 田島 和雄 大竹 辰治 ※杉山 公一 荻野 稔
	まちづくり環境 委員会 (定数9人)	大森 昭彦	岡元 由美	岸田 哲治 押見 隆太 椿 真一 ※黒沼 良光 ※須藤 英児 庄嶋 孝広 奈須 利江
	こども文教 委員会 (定数9人)	末安 広明	海老澤圭介	松原 秀典 渡司 幸 松本 洋之 ※荒尾 大介 ※松原 元 植田 智一
議会運営委員会 (定数13人)		長野 元祐	松本 洋之	押見 隆太 湯本良太郎 伊佐治 剛 高山 雄一 椿 真一 末安 広明 大竹 辰治 佐藤 伸 犬伏 秀一 三沢清太郎
特 別 委 員 会	オリンピック パラリンピック 観光推進特別委員会 (定数11人)	椿 真一	深川 幹祐	長野 元祐 大橋 武司 清水 菊美 ※荒尾 大介 三沢清太郎 ※松原 元 小川あずさ 馬橋 靖世 荻野 稔
	交通臨海部活性化 特別委員会 (定数10人)	松原 秀典	大竹 辰治	高瀬 三徳 高山 雄一 海老澤圭介 ※松本 洋之 小峰 由枝 佐藤 伸 ※植田 智一 奈須 利江
	羽田空港対策 特別委員会 (定数10人)	岸田 哲治	須藤 英児	大森 昭彦 湯本良太郎 渡司 幸 ※岡元 由美 末安 広明 ※杉山 公一 平野 春望
	防災安全対策 特別委員会 (定数10人)	犬伏 秀一	押見 隆太	田中 一吉 伊佐治 剛 ※広川恵美子 秋成 靖 黒沼 良光 ※菅谷 郁恵 荒木 秀樹 庄嶋 孝広

- 1 委員氏名順は議席番号順
- 2 委員氏名の前の※印は理事
- 3 上記特別委員会に正副議長及び議員選出監査委員の計4名は属さない。

	名 称	委 員 長	副委員長	委 員
特 別 委 員 会	予算特別委員会 (定数44人) 設置期間 4. 2. 24～3. 25	大森 昭彦	田村 英樹	議長を除く全議員 (委員名は省略)
	決算特別委員会 (定数42人) 設置期間 4. 9. 14～10. 12	田中 一吉	秋成 靖 荒尾 大介	議長及び議員選出監査委員を除く 全議員 (委員名は省略)

2 議会活動

(1) 会議の開催

① 本会議

ア 定例会

定例会	期 間	会期	開催日数
第1回	2月15日～3月25日	39日	5日
第2回	6月15日～6月24日	10日	3日
第3回	9月13日～10月12日	30日	4日
第4回	11月29日～12月8日	10日	3日

イ 臨時会

臨時会	期 間	会期	開催日数
第1回	5月26日～5月27日	2日	2日

② 委員会

名称		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
常任委員会	総務財政	1	2	1	1	3	2	1	1	3	1	2	3	21
	地域産業	1	2	1	1	2	2	1	1	3	1	1	3	19
	健康福祉	1	2	1	1	2	2	1	1	3	1	1	3	19
	まちづくり環境	1	2	1	1	2	2	1	1	3	1	1	3	19
	こども文教	1	2	1	1	2	2	1	1	3	1	1	3	19
	小計	5	10	5	5	11	10	5	5	15	5	6	15	97
議会運営委員会		0	4	3	0	5	4	0	0	6	1	3	2	28
特別委員会	オリンピックパラリンピック観光推進	1	0	1	1	2	1	1	0	1	1	1	1	11
	交通臨海部活性化	1	0	1	1	2	2	1	0	1	1	2	1	13
	羽田空港対策	1	0	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	12
	防災安全対策	1	0	1	1	2	1	1	0	1	1	1	1	11
	予算	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	決算	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	8
	小計	4	1	13	4	8	5	4	1	9	7	5	4	65
合計		9	15	21	9	24	19	9	6	30	13	14	21	190

③ その他の会議

会議		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
合同委員長会		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(2) 議案等

※表内のカタカナ表記は、②議決事項一覧の内訳に対応しています。

① 議決件数

ア 議案、事件

種 別		件数	種 別		件数
ア	条例（区長提出）	62	タ	同意	4
イ	条例（議員・委員会提出）	13	チ	報告（承認を必要とするもの）	1
ウ	規則	0	ツ	協議	1
エ	予算	16	テ	指定管理者の指定	3
オ	決算	4	ト	購入	0
カ	契約	18	ナ	損害賠償額の決定	1
キ	財産	1	ニ	事務の委託、受託	0
ク	負担付寄付、贈与の受領	0	ヌ	新たに生じた土地の確認	0
ケ	権利の放棄	0	ネ	住居表示の方法	0
コ	意見の陳述	0	ノ	町区域の設定、廃止、変更	0
サ	訴えの提起、和解、調停	0	ハ	包括外部監査契約	1
シ	特別区道路線の 認定、廃止、変更	1	ヒ	その他（含答申）	8
ス	区有通路の設置、廃止	0	フ	決議、意見書の提出	4
セ	公の施設の廃止	1	ヘ	予算に対する付帯決議	0
ソ	土地・建物の取得、処分	0	ホ	その他議員提出事件 （除中間報告）	28
合計					167

イ 選挙

種 別		件数
マ	選挙	1

ウ 報告、事件

種 別		件数
ミ	報告（報告のみのもの）	33
ム	その他議員提出事件（中間報告）	4

エ 請願・陳情

結 果	請 願	陳 情
採 択	0	3
不 採 択	2	28
取 下 げ	0	1
審議未了	0	0
継 続	0	28
合 計	2	60

② 議決事項一覧

※各内訳のカタカナ表記は、①議決件数の種別に対応しています。

ア 区長提出議案（111件）（内訳：ア62件、エ16件、オ4件、カ18件、キ1件、シ1件、セ1件、ツ1件、テ3件、ナ1件、ハ1件、ヒ2件）

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第1回 定例会	1	令和4年度大田区一般会計予算	4. 3. 25	原案可決	共産、フェア民	予算特別
	2	令和4年度大田区国民健康保険事業特別会計予算	4. 3. 25	原案可決	共産、フェア民	予算特別
	3	令和4年度大田区後期高齢者医療特別会計予算	4. 3. 25	原案可決	共産、フェア民	予算特別
	4	令和4年度大田区介護保険特別会計予算	4. 3. 25	原案可決	共産、フェア民	予算特別
	5	令和3年度大田区一般会計補正予算（第8次）	4. 3. 4	原案可決	共産、フェア民	総務財政
	6	令和3年度大田区国民健康保険事業特別会計補正予算（第2次）	4. 3. 4	原案可決	共産、フェア民	総務財政
	7	令和3年度大田区後期高齢者医療特別会計補正予算（第2次）	4. 3. 4	原案可決	共産、フェア民	総務財政
	8	令和3年度大田区介護保険特別会計補正予算（第2次）	4. 3. 4	原案可決	フェア民	総務財政
	9	大田区SDGs推進会議条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	総務財政
	10	大田区組織条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	共産	総務財政
	11	大田区個人情報保護条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	共産、フェア民	総務財政
	12	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	総務財政
	13	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決		総務財政
	14	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決		総務財政
	15	大田区手数料条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	総務財政
	16	大田区立熊谷恒子記念館条例の施設の供用停止に関する条例	4. 3. 4	原案可決		地域産業

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第1回 定例会	17	大田区立大森スポーツセンター条例の施設の一部の供用停止に関する条例	4. 3. 4	原案可決		地域産業
	18	大田区産業プラザ条例の施設の一部の供用停止に関する条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決		地域産業
	19	大田区南六郷創業支援施設条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	地域産業
	20	大田区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	共産、エール、フェア民	健康福祉
	21	大田区特別区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	まちづくり環境
	22	大田区公共物管理条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	まちづくり環境
	23	大田区立公園条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	まちづくり環境
	24	大田区ハト・カラスへの給餌による被害防止条例	4. 3. 4	原案可決	フェア民	まちづくり環境
	25	大田区保育の必要性の認定等に関する条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決		こども文教
	26	大田区立保育園条例の一部を改正する条例	4. 3. 4	原案可決	共産、エール、フェア民	こども文教
	27	財産の交換について	4. 3. 4	原案可決	フェア民	総務財政
	28	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約に関する協議について	4. 3. 4	同意		総務財政
	29	呑川合流改善貯留施設立坑設置工事請負契約について	4. 3. 4	原案可決	フェア民	総務財政
	30	特別区道路線の廃止について	4. 3. 4	原案可決		まちづくり環境
31	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	4. 3. 25	原案可決	共産、フェア民	総務財政	
第1回 臨時会	32	令和4年度大田区一般会計補正予算(第1次)	4. 5. 27	原案可決	フェア民	総務財政
	33	大田区立おなづか小学校プール改修及び玄関棟(棟番号⑩-1、2、3)耐震補強その他工事請負契約について	4. 5. 27	原案可決		総務財政

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第2回 定例会	34	令和4年度大田区一般会計補正予算(第2次)	4. 6. 24	原案可決	フェア民	総務財政
	35	大田区特別区税条例等の一部を改正する条例	4. 6. 24	原案可決	フェア民	総務財政
	36	大田区手数料条例の一部を改正する条例	4. 6. 24	原案可決	フェア民	総務財政
	37	大田区墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例	4. 6. 24	原案可決		健康福祉
	38	大田区空家等の適切な管理の推進に関する条例	4. 6. 24	原案可決	フェア民	まちづくり環境
	39	包括外部監査契約の締結について	4. 6. 24	原案可決		総務財政
	40	大田区仲池上二丁目付近 ^{きよ} 管渠改良その2工事(下水道)請負契約について	4. 6. 24	原案可決		総務財政
	41	大田第9号蒲田東口地下自転車駐車場支障物撤去工事(地下構造物)請負契約について	4. 6. 24	原案可決	フェア民	総務財政
	42	大田区立東調布第三小学校及び仮称大田区南久が原二丁目複合施設改築その他工事(I期)請負契約について	4. 6. 24	原案可決	フェア民	総務財政
	43	大田区立蒲田小学校校舎増築その他工事請負契約について	4. 6. 24	原案可決		総務財政
	44	大田区立雪谷文化センター外壁改修その他工事請負契約について	4. 6. 24	原案可決		総務財政
	45	大田区立大森第一小学校校舎(棟番号⑪-1、2及び⑬)外壁改修その他工事請負契約について	4. 6. 24	原案可決		総務財政

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第2回 定例会	46	大田区立東調布第三小学校及び仮称大田区南久が原二丁目複合施設改築その他電気設備工事（I期）請負契約について	4. 6. 24	原案可決	フェア民	総務財政
	47	旧大田区立野辺山学園取壊し工事請負契約について	4. 6. 24	原案可決	フェア民	総務財政
	48	大田区立沢田東児童公園の廃止について	4. 6. 24	原案可決		まちづくり環境
	諮1	生活保護費返還金の督促処分に対する審査請求について	4. 6. 24	棄却すべきものと答申することに決定		総務財政
第3回 定例会	49	令和3年度大田区一般会計歳入歳出決算	4. 10. 12	認定	共産 フェア民	決算特別
	50	令和3年度大田区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	4. 10. 12	認定	共産 フェア民	決算特別
	51	令和3年度大田区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	4. 10. 12	認定	共産 フェア民	決算特別
	52	令和3年度大田区介護保険特別会計歳入歳出決算	4. 10. 12	認定	共産 フェア民	決算特別
	53	令和4年度大田区一般会計補正予算（第3次）	4. 9. 26	原案可決	フェア民	総務財政
	54	令和4年度大田区国民健康保険事業特別会計補正予算（第1次）	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	55	令和4年度大田区後期高齢者医療特別会計補正予算（第1次）	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	56	令和4年度大田区介護保険特別会計補正予算（第1次）	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	57	職員の高齢者部分休業に関する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	58	大田区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	59	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第3回 定例会	60	職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	61	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	62	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	63	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	64	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	65	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	66	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	67	大田区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	68	大田区手数料条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決	フェア民	総務財政
	69	大田区議会議員及び大田区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		総務財政
	70	大田区特別出張所設置条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決	共産、フェア民	地域産業
	71	大田区総合体育館条例の施設の供用停止に関する条例	4. 9. 26	原案可決	フェア民	地域産業
	72	大田区立シルバーピア条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決	共産	健康福祉
	73	大田区高齢者アパート条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決	共産	健康福祉
	74	大田区営住宅条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		まちづくり環境
75	大田区乳幼児及び義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		こども文教	

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第3回 定例会	76	大田区子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	原案可決		こども文教
	77	仮称大田区田園調布せせらぎ公園体育施設新築その他工事請負契約について	4. 9. 26	原案可決	フェア民	総務財政
	78	仮称大田区西蒲田三丁目複合施設新築その他工事請負契約について	4. 9. 26	原案可決	フェア民	総務財政
	79	大田区立東調布第三小学校及び仮称大田区南久が原二丁目複合施設改築その他機械設備工事（I期）請負契約について	4. 9. 26	原案可決	フェア民	総務財政
	80	区の義務に属する損害賠償の額の決定について	4. 9. 26	原案可決	共産	健康福祉
	81	令和4年度大田区一般会計補正予算（第4次）	4. 10. 12	原案可決	フェア民	総務財政
第4回 定例会	82	令和4年度大田区一般会計補正予算（第5次）	4. 12. 8	原案可決	フェア民	総務財政
	83	大田区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	4. 12. 8	原案可決	共産、フェア民	総務財政
	84	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	4. 12. 8	原案可決	共産、フェア民 フォーラム	総務財政
	85	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	4. 12. 8	原案可決		総務財政
	86	大田区積立基金条例の一部を改正する条例	4. 12. 8	原案可決	共産、立憲、 フェア民、 フォーラム	総務財政
	87	大田区大森北四丁目複合施設条例	4. 12. 8	原案可決	共産、フェア民	地域産業
	88	大田区田園調布せせらぎ館条例の一部を改正する条例	4. 12. 8	原案可決	フェア民	地域産業
	89	大田区新蒲田区民活動施設条例の一部を改正する条例	4. 12. 8	原案可決	共産、フェア民	地域産業
	90	大田区民プラザ条例の施設の供用停止に関する条例	4. 12. 8	原案可決	フェア民	地域産業
	91	大田区大森南四丁目工場アパート条例を廃止する条例	4. 12. 8	原案可決	共産、フェア民	地域産業

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第4回 定例会	92	大田区立障害者福祉施設条例の一部を改正する条例	4.12.8	原案可決		健康福祉
	93	大田区自転車等の適正利用及び自転車等駐車場整備に関する条例の一部を改正する条例	4.12.8	原案可決		交通臨海部 活性化特別
	94	大田区廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	4.12.8	原案可決	共産	まちづくり環境
	95	大田区民プラザ特定天井改修その他工事請負契約について	4.12.8	原案可決	フェア民 (除斥:自民1)	総務財政
	96	大田区民プラザ特定天井改修その他電気設備工事請負契約について	4.12.8	原案可決	フェア民	総務財政
	97	大田区民プラザ特定天井改修その他機械設備工事請負契約について	4.12.8	原案可決	フェア民	総務財政
	98	大田区民プラザ舞台照明設備改修工事請負契約について	4.12.8	原案可決	フェア民	総務財政
	99	大田区民プラザ舞台機構改修工事請負契約について	4.12.8	原案可決	フェア民	総務財政
	100	大田区青少年交流センターの指定管理者の指定について	4.12.8	原案可決	共産、フェア民	地域産業
	101	大田区立平和の森会館の指定管理者の指定について	4.12.8	原案可決	共産、フェア民	地域産業
	102	大田区立大森東福祉園の指定管理者の指定について	4.12.8	原案可決	共産、フェア民	健康福祉
	103	鉄道と魅力的なまちづくり宣言	4.12.8	原案可決	共産、立憲、 フェア民	まちづくり環境
	104	大田区個人情報の保護に関する法律施行条例	4.12.8	原案可決	共産、フェア民	総務財政
	105	大田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	4.11.30	原案可決	共産、フェア民 (棄権:令和1)	総務財政
	106	大田区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	4.11.30	原案可決	共産、フェア民 (棄権:令和1)	総務財政
	107	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	4.11.30	原案可決	(棄権:令和1)	総務財政
	108	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	4.11.30	原案可決	立憲、フェア民	総務財政

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第4回 定例会	109	大田区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	4. 11. 30	原案可決	共産、フェア民 (棄権: 令和1)	総務財政
	110	大田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	4. 11. 30	原案可決	共産、フェア民 (棄権: 令和1)	総務財政

イ 議員提出議案 (14件) (内訳: イ11件、フ3件)

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (棄権・除斥)	付託委員会
第1回 定例会	1	大田区中小企業・小規模企業振興条例	4. 3. 4	否決	自民、公明、 令和、エール、 フェア民、 フォーラム	地域産業
	2	大田区高齢者入院見舞金の支給に関する条例	4. 3. 4	否決	自民、公明、 令和、エール、 フォーラム	健康福祉
	3	大田区世帯向家賃助成に関する条例	4. 3. 4	否決	自民、公明、 令和、エール、 フェア民、 フォーラム	まちづくり環境
	4	大田区学校給食費助成条例	4. 3. 4	否決	自民、公明、 令和、 フェア民、 フォーラム	こども文教
	5	ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻を非難し断固抗議する決議	4. 3. 4	原案可決		なし
第3回 定例会	6	大田区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例	4. 9. 26	否決	自民、公明、 令和、無所属、 フォーラム	総務財政
	7	大田区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	4. 9. 26	否決	自民、公明、 令和、無所属、 フォーラム	健康福祉
	8	大田区ゼロカーボンシティ宣言	4. 9. 26	否決	自民、公明、 令和、立憲、 無所属、 フォーラム	まちづくり環境
	9	奈須利江議員に対する問責決議	4. 9. 13	原案可決	共産、立憲、 フォーラム (除斥: フェア 民)	なし
	10	子育て支援の拡充を求める意見書	4. 10. 12	原案可決		なし
第4回 定例会	11	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	4. 12. 8	否決	自民、公明、 令和、無所属、 フォーラム	総務財政
	12	大田区おとしより介護応援手当条例	4. 12. 8	否決	自民、公明、 令和、立憲、 無所属、 フォーラム	健康福祉
	13	大田区世帯向家賃助成に関する条例	4. 12. 8	否決	自民、公明、 令和、無所属、 フォーラム	まちづくり環境
	14	大田区学校給食費助成条例	4. 12. 8	否決	自民、公明、 令和、無所属	こども文教

ウ 委員会提出議案（3件）（内訳：イ2件、フ1件）

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派 (兼権・除斥)	提出委員会
第1回定例会	1	大田区議会委員会条例の一部を改正する条例	4. 3. 25	原案可決		議会運営
第1回臨時会	2	大田区議会委員会条例の一部を改正する条例	4. 5. 26	原案可決	共産 立憲 フェア民	議会運営
第3回定例会	3	固定資産税及び都市計画税の減免措置等の継続を求める意見書	4. 10. 12	原案可決		総務財政

エ 議員提出事件（31件）（内訳：ホ28、ム4件）

会議名	件名	議決年月日	備考
第1回定例会	会期の決定	4. 2. 15	可決
	予算特別委員会の設置	4. 2. 24	可決
	予算特別委員選任	4. 2. 24	選任
	第1号議案 令和4年度大田区一般会計予算の編成替えを求める動議	4. 3. 25	否決
	長野県東御市議会親善訪問に伴う議員の派遣について 委員会継続審査及び調査要求	4. 3. 25 4. 3. 25	可決 可決
第1回臨時会	会期の決定	4. 5. 26	可決
	オリンピック パラリンピック観光推進特別委員会中間報告	4. 5. 26	報告
	交通臨海部活性化特別委員会中間報告	4. 5. 26	報告
	羽田空港対策特別委員会中間報告	4. 5. 26	報告
	防災安全対策特別委員会中間報告	4. 5. 26	報告
	特別委員会委員定数変更	4. 5. 27	可決
	副議長辞職許可について	4. 5. 27	許可
	常任委員及び議会運営委員選任	4. 5. 27	選任
	オリンピック パラリンピック観光推進特別委員選任	4. 5. 27	選任
	交通臨海部活性化特別委員選任	4. 5. 27	選任
羽田空港対策特別委員選任	4. 5. 27	選任	
防災安全対策特別委員選任	4. 5. 27	選任	
第2回定例会	会期の決定	4. 6. 15	可決
	議員表彰	4. 6. 14	可決
	委員会継続審査及び調査要求	4. 6. 24	可決
第3回定例会	会期の決定	4. 9. 13	可決
	決算特別委員会の設置	4. 9. 14	可決
	決算特別委員選任	4. 9. 14	選任
	常任委員の所属変更について	4. 9. 14	可決
	宮城県東松島市議会及び秋田県美郷町議会親善訪問に伴う議員の派遣について	4. 9. 26	可決

会議名	件名	議決 年月日	備考
第3回 定例会	第81号議案 令和4年度大田区一般会計補正予算（第4次）の編 成替えを求める動議 委員会継続審査及び調査要求	4. 10. 12	否決
		4. 10. 12	可決
第4回 定例会	会期の決定 ICT化先進議会視察に伴う議員の派遣について 第82号議案 令和4年度大田区一般会計補正予算（第5次）の編 成替えを求める動議 委員会継続審査及び調査要求	4. 11. 29	可決
		4. 12. 8	可決
		4. 12. 8	否決
		4. 12. 8	可決

オ 選挙（1件）（内訳：マ1件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第1回 臨時会	副議長選挙	4. 5. 27	田村 英樹 議員 当選

カ 同意（4件）（内訳：タ4件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第1回 臨時会	議員選出監査委員選任同意	4. 5. 27	塩野目正樹 議員 同意
	議員選出監査委員選任同意	4. 5. 27	田島 和雄 議員 同意
第3回 定例会	教育委員会委員任命同意	4. 10. 12	高橋 幸子 同意
第4回 定例会	教育委員会委員任命同意	4. 12. 8	深澤 佳己 同意

キ 人権擁護委員候補者の推薦（6件）（内訳：ヒ6件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第1回 定例会	人権擁護委員候補者の推薦	4. 3. 25	石井 一平（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦	4. 3. 25	松本 浩子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦	4. 3. 25	加藤 裕子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦	4. 3. 25	立石 敬三（新任）
	人権擁護委員候補者の推薦	4. 3. 25	鈴木 優子（新任）
	人権擁護委員候補者の推薦	4. 3. 25	坂野麻実子（新任） （上記の区長推薦候補者のと おりで異議なし）

ク 報告 (34件) (内訳：チ1件、ミ33件)

会議名	番号	件名	議決(報告) 年月日	議決 内容	反対 会派	付託 委員会
第1回 定例会	1	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	4. 2. 24	報告	-	-
	2	大田区仲池上二丁目付近管渠 <small>きよ</small> 改良工事(下水道)請負契約の専決処分の報告について	4. 2. 24	報告	-	-
	3	仮称大田区新蒲田一丁目複合施設新築工事請負契約の専決処分の報告について	4. 2. 24	報告	-	-
	4	大田区産業プラザ特定天井改修その他工事請負契約の専決処分の報告について	4. 2. 24	報告	-	-
	5	仮称大田区新蒲田一丁目複合施設新築電気設備工事請負契約の専決処分の報告について	4. 2. 24	報告	-	-
	6	仮称大田区新蒲田一丁目複合施設新築機械設備工事請負契約の専決処分の報告について	4. 2. 24	報告	-	-
第1回 臨時会	7	補正予算に関する専決処分の承認について	4. 5. 27	承認	フェア民	総務財政
第2回 定例会	8	令和3年度大田区繰越明許費繰越計算書	4. 6. 16	報告	-	-
	9	大田区土地開発公社の経営状況に関する書類の提出について	4. 6. 16	報告	-	-
	10	公益財団法人大田区スポーツ協会の経営状況に関する書類の提出について	4. 6. 16	報告	-	-
	11	公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類の提出について	4. 6. 16	報告	-	-
	12	一般財団法人国際都市おおた協会の経営状況に関する書類の提出について	4. 6. 16	報告	-	-
	13	公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について	4. 6. 16	報告	-	-
	14	株式会社大田まちづくり公社の経営状況に関する書類の提出について	4. 6. 16	報告	-	-
	15	一般財団法人大田区環境公社の経営状況に関する書類の提出について	4. 6. 16	報告	-	-
	16	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	4. 6. 16	報告	-	-

会議名	番号	件名	議決(報告) 年月日	議決 内容	反対 会派	付託 委員会
第3回 定例会	17	令和3年度決算に基づく健全化判断比率の状況について	4. 9. 14	報告	-	-
	18	民事訴訟の提起に係る専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	19	民事訴訟の提起に係る専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	20	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	21	久根橋外1橋構造改良工事請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	22	呑川合流改善貯留施設立坑設置工事請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	23	平和島公園改良工事その4請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	24	大田第9号蒲田駅東口地下自転車駐車場支障物撤去工事(地下構造物)請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	25	大田区立入新井第一小学校及び仮称大田区大森北四丁目複合施設改築その他工事(I期)請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	26	大田区立大森第七中学校校舎改築及び外構その他工事(II期)請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	27	大田区産業プラザ特定天井改修その他工事請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
	28	大田区役所本庁舎ゴンドラ設備本体更新工事請負契約の専決処分の報告について	4. 9. 14	報告	-	-
第4回 定例会	29	民事訴訟の提起に係る専決処分の報告について	4. 11. 30	報告	-	-
	30	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	4. 11. 30	報告	-	-
	31	大田第9号蒲田駅東口地下自転車駐車場支障物撤去工事(地下構造物)請負契約の専決処分の報告について	4. 11. 30	報告	-	-
	32	大田区立大森第七中学校校舎改築及び外構その他工事(II期)請負契約の専決処分の報告について	4. 11. 30	報告	-	-

会議名	番号	件名	議決(報告) 年月日	議決 内容	反対 会派	付託 委員会
第4回 定例会	33	大田区役所本庁舎ゴンドラ設備本体更新工事請負契約の専決処分の報告について	4.11.30	報告	-	-
	34	大田区立おなづか小学校プール改修及び玄関棟(棟番号㊸-1、2、3)耐震補強その他工事請負契約の専決処分の報告について	4.11.30	報告	-	-

(3) 質問、質疑

① 定例会の質問（通告）一覧

令和4年第1回定例会

質問者	質問事項
伊佐治 剛 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 福祉的支援の充実について 2 大田区の「みらい」を見据えた施策について 3 区民生活の根幹を支える区内企業への産業支援について 4 ゼロカーボンシティの実現と資源循環について 5 新型コロナウイルス感染症対策について 6 清掃事業における不祥事について
田村 英樹 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度大田区予算について 2 新型コロナワクチン追加接種事業について 3 産業振興について 4 新空港線整備とまちづくりについて 5 子どもたちの生活環境の整備について 6 脱炭素社会への取組みについて 7 権利擁護施策について 8 キャリア教育について
清水 菊美 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 改憲を急ぐ岸田政権に対し平和憲法を守ると述べている区長の見解について 2 新自由主義から転換し、地方自治の本来の役割を果たし、全ての区民が輝く新年度予算について 3 いのちとくらしを守る緊急コロナ対策について 4 新空港線計画は中止し、住民本位の下丸子・蒲田のまちづくりについて 5 保育士、幼稚園教諭、放課後児童支援員等ケア労働者を支える区の支援について 6 国際都市にふさわしいジェンダー平等を進める大田区の施策について
植田 智一 (令 和)	<ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における区の抱える問題と課題について
田島 和雄 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災・減災について 2 防災・減災の観点からのグリーンインフラの活用について
松本 洋之 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 SDGs への取り組みについて 2 宇宙飛行士と区民との交流について 3 特別養護老人ホームの増設について 4 帯状疱疹予防ワクチン助成について
奈須 利江 (フェア民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 大田区は説明責任をはたし区民の声を聴いて区政を行なえるか、について 2 大田区情報化推進計画とデジタル関連法令の4万件一括改正で大田区が持つ区民の個人情報を守るか、について 3 IR (カジノ) 5要件の4つがそろふ羽田空港跡地を区長はカジノから守れるか、について 4 大田区の公民連携は岸田首相が言う国家資本主義にならないか、について

質問者	質問事項
福井 亮二 (共 産)	1 社会保障としての国民健康保険制度について
庄嶋 孝広 (エ ー ル)	1 こどもの意見表明と区政参加について 2 協同労働の地域課題解決への活用について
高山 雄一 (自 民)	1 持続可能で快適なまちの実現に向けた取り組みについて 2 東京 2020 大会のレガシーと今後のスポーツ施策について
渡司 幸 (自 民)	1 区内産業のデジタル化について 2 デジタル商品券について 3 教育について
大森 昭彦 (自 民)	1 蒲田のまちづくりについて 2 大田区のDX化について 3 eスポーツの推進と若者の交流事業について 4 自治会・町会との連携と今後について
杉山 公一 (共 産)	1 区民の健康を守るための航空機騒音の規制強化について 2 脱炭素社会実現のため、羽田空港における航空機のエンジン排気ガスによる環境破壊、温暖化防止について 3 区民の命と財産を脅かす航空機事故のリスクを軽減することについて
小川あずさ (エ ー ル)	1 特別支援学級について 2 ICT教育について
馬橋 靖世 (無 所 属)	1 防災対策について
松原 元 (令 和)	1 通所介護への指導監査について 2 区内交通不便地域解消について
三沢清太郎 (令 和)	1 コロナの水際対策について 2 校則の全文公開について 3 公教育の場でのネットリテラシーについて 4 ごみの戸別収集について

令和4年第2回定例会

質問者	質問事項
押見 隆太 (自 民)	1 行財政運営、未来を見据えた展望や取組みについて 2 物価高について 3 総合評価方式入札制度の取組み成果と今後の方向性について 4 防災、安心・安全の大田区へ向けての取組みについて 5 福祉について 6 新型コロナウイルス第7波への備えについて 7 ファミリー世帯に選ばれる自治体・選ばれる学校へ向けての取組みについて 8 新空港線蒲蒲線について

質 問 者	質 問 事 項
岡元 由美 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 物価高騰から区民を守る取り組みについて 2 災害時の人材確保について 3 大田区が進めるSDG sについて 4 子どもの貧困とヤングケアラー支援について 5 事務事業見直しと人材登用について 6 新型コロナワクチン接種事業について 7 今後のH I C i t yの展開について 8 新空港線と蒲田のまちづくりについて 9 S T E A M教育について
黒沼 良光 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 ロシアのウクライナ侵略に便乗しての憲法改悪を許さず、大田区平和都市宣言に基づき平和を構築する大田区の役割について 2 物価急騰から、区民の暮らしと営業を守るためのやさしくて強い経済に転換することについて 3 「デジタル田園都市構想」による大田区の重点プログラムの新たな自治体経営へのシフトの問題点、及び新空港線の課題について 4 大田区の「環境アクションプラン」の具体化と改善について 5 ジェンダー平等とSDG sに基づく大田区の改革について
須藤 英児 (令 和)	<ol style="list-style-type: none"> 1 まちづくりについて 2 災害対応について 3 農業について 4 ウィンタースポーツについて 5 教育について
椿 真一 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災被災者支援情報の強化について 2 小・中学校の水道蛇口のレバー化について 3 ひきこもり支援室S A P O T Aと重層的支援体制移行準備事業について
松本 洋之 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災の取り組みについて 2 保育の取り組みについて
奈須 利江 (フェア民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 三位一体改革の増税により負担が増え手取りが減った大田区民は、社会保障で安心を得られたか、について 2 それでは大田区は増収分を何に使ったのか、について
伊佐治 剛 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 「やさしいまち」大田区の実現について 2 区民の安全と健康を守るための体制整備について 3 公共用地の有効活用について
長野 元祐 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 空港機能の変化と今後の課題について 2 観光政策について 3 物価高対策と施策スピードについて
海老澤圭介 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 商店街振興について 2 グリーンプランおおたについて 3 スポーツ施策について

質 問 者	質 問 事 項
菅谷 郁恵 (共 産)	1 国の政治の防波堤になって高齢者支援をすることについて 2 子どもの人権を尊重する区政へ転換をについて 3 都の防災計画見直しについて
荻野 稔 (フォーラム)	1 新空港線・蒲蒲線について 2 多摩川線沿線のまちづくりについて 3 障がい者支援について
小川あずさ (立 憲)	1 小中学校の英語教育について
松原 元 (令 和)	1 成年年齢引き下げについて
犬伏 秀一 (令 和)	1 公務員・教員のお花畑感覚について 2 その他気になる事項について
平野 春望 (立 憲)	1 防災について 2 誰もが使いやすい蒲田のまちづくりについて

令和4年第3回定例会

質 問 者	質 問 事 項
大森 昭彦 (自 民)	1 令和5年度予算編成について 2 基金の戦略的な運用について 3 組織体制及び組織改正について 4 コロナ第7波とインフルエンザ対応について 5 環境対策、脱炭素戦略について 6 新空港線について 7 子育てについて 8 大田区若者サポートセンター「フラットおおた」の取組について 9 S T E A M教育の更なる充実について
秋成 靖 (公 明)	1 物価高騰の影響と行政の対応について 2 防災について 3 デジタル分野での女性就労の促進について 4 地域通貨と行政のデジタル化について 5 新時代の仲間まわしについて 6 災害弱者の命を守る個別避難計画について 7 福祉部所管の次期主要計画について 8 帯状疱疹ワクチンについて 9 新空港線について 10 教育について

質 問 者	質 問 事 項
荒尾 大介 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 核廃絶を求める国際世論と市民運動に連帯し、「核のない世界」実現に向けて大田区の果たすべき役割について 2 コロナ感染症第7波、物価高騰への区民のいのち、暮らし、営業を守るための抜本的な対策強化について 3 コロナ禍の区民生活を守るには不十分だった決算について 4 区民の暮らしと福祉、営業を充実させる新年度予算について
三沢清太郎 (令 和)	<ol style="list-style-type: none"> 1 大田区長から中国への忠言について 2 国葬における大田区の対応について 3 大田区立小学校への「君が代」学習について 4 震災時に希望の持てる防災政策について 5 合流式下水道の見直しについて 6 地域通貨の利活用について 7 新空港線について
大橋 武司 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 SDG s の見える化について 2 「働く姿の写真展」開催について 3 P i O フロントについて 4 区民が学べる取り組みについて 5 「大田区から平和への発信を」について
広川恵美子 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 誰も取り残さない大田区の施策について 2 切れ目ない大田区の施策について
犬伏 秀一 (令 和)	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者入所施設における人権擁護について 2 委託窓口職員の長期勤務について 3 マイナンバーカードを使った手続きについて 4 区立中学校における部活のあり方について
高山 雄一 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 新空港線整備と沿線まちづくりについて 2 たまちゃんバスと大田区コミュニティバスの今後について 3 移動手段の脱炭素化に向けた取り組みについて 4 私道の舗装工事について 5 スポーツ実施率向上に向けた取り組みについて 6 子育て支援について
深川 幹祐 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災力強化について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 職員の活用について 4 呑川、内川の環境改善について 5 保育園について 6 奨学金について
松原 秀典 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 自治会・町会について 2 産業経済の今後の展望について 3 重症心身障害者通所施設の整備と医療的ケアについて
福井 亮二 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 法的根拠のない国葬の中止を求めることについて 2 個人の権利利益保護の確立について 3 ジェンダー平等視点をあらゆる政策・計画に取り込むことについて

質問者	質問事項
植田 智一 (令和)	1 コロナ禍における景気動向と区の課題について
庄嶋 孝広 (立憲)	1 長期休暇中の子どもの食事の支援について 2 大森駅西口都市計画とにぎわいについて

令和4年第4回定例会

質問者	質問事項
長野 元祐 (自民)	1 令和5年度予算編成について 2 鉄道沿線まちづくりについて 3 新型コロナウイルス感染症第8波対策について 4 公共交通施策について 5 重層的支援体制整備事業について 6 防災対策について 7 産業振興について 8 デジタル化推進について 9 子育て・教育施策について 10 区民QOL向上について
椿 真一 (公明)	1 総合経済対策について 2 感染防止とセルフメディケーションについて 3 子育て支援について 4 災害時の障がい者と高齢者の同時支援について 5 老いじたく推進事業について 6 重層的包括連携支援について 7 地域社会とつながる参加型支援について 8 子どもの貧困と地域連携支援について 9 DXとGXについて 10 大田区積立基金条例の改正について 11 本区の観光施策について 12 小・中学校の教職員への支援について
杉山 公一 (共産)	1 軍拡ではなく国際都市おおたの平和の役割について 2 大田区として反社会的団体である統一協会との関係を調査し関係を断つことについて 3 止まらない物価高騰・新型コロナウイルス感染症第8波から区民のいのち、暮らしを守るための新年度予算について 4 次世代を担うこどもを、のびのび育てられる環境づくりについて
松原 元和 (令和)	1 交通不便地域について 2 蒲田の治安について 3 交通安全対策について 4 防災について 5 行政のデジタル化について

質 問 者	質 問 事 項
末安 広明 (公 明)	1 若者支援について 2 高齢者の住み替え支援について 3 ランドセルの重さ問題について
小峰 由枝 (公 明)	1 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について 2 ヤングケアラー支援について 3 区内中小企業の支援について
須藤 英児 (令 和)	1 安全・安心なまちづくりについて
押見 隆太 (自 民)	1 入札制度改革について 2 子育て世帯に選ばれる自治体への取組みについて
高山 雄一 (自 民)	1 区民農園について 2 町工場の技術について
奈須 利江 (フェア民)	1 小泉構造改革等が大田区に及ぼした影響と大田区が区政で行ってきたことについて 2 大田区政はどういう区政をめざしているかについて
清水 菊美 (共 産)	1 個人の尊厳と多様性を認め合うジェンダー平等の大田区について 2 住宅に困窮する高齢者等の、住宅確保政策について 3 いのち・安全・区民の足を守るための、交通政策について
庄嶋 孝広 (立 憲)	1 性別・性差に関する人権の尊重について 2 郷土博物館と区民活動の連携・協働について
植田 智一 (令 和)	1 新空港線沿線のまちづくりについて
馬橋 靖世 (無 所 属)	1 大田区観光振興プランについて
荻野 稔 (フォーラム)	1 自殺対策について 2 自殺対策に関わる区の対応について 3 自殺対策に関わる学校の支援について
小川あずさ (立 憲)	1 里親について 2 若者の居場所について
田中 一吉 (自 民)	1 今後の自治体経営のあり方について 2 行政サービス提供や組織機構の改革について 3 行政経営とIT技術の融合について 4 より効果的な施設サービスについて 5 今後の公民連携のあり方について 6 人材育成について

* 第1回定例会 会派名

(自 民) : 自由民主党大田区民連合

(エ ー ル) : エールおおた区議団 (立憲)

(公 明) : 大田区議会公明党

(フェア民) : フェアな民主主義

(共 産) : 日本共産党大田区議団

(無 所 属) : 大田無所属の会

(令 和) : 令和大田区議団 (無所属5+維新1)

(フォーラム) : 東京政策フォーラム

* 第2回定例会～第4回定例会 会派名

(自 民) : 自由民主党大田区民連合
(公 明) : 大田区議会公明党
(共 産) : 日本共産党大田区議団
(令 和) : 令和大田区議団(無所属5+維新1)

(立 憲) : 立憲民主党大田区議団
(フェア民) : フェアな民主主義
(無 所 属) : 大田無所属の会
(フォーラム) : 東京政策フォーラム

②予算・決算特別委員会の質疑（通知）一覧

令和4年予算特別委員会・総括質疑

質 疑 者	質 疑 事 項
深川 幹祐 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 大田区政の諸課題について 2 令和4年度予算編成について 3 DXの推進について 4 医療的ケア児のサポートについて 5 児童相談所について 6 はねびょん健康ポイントについて 7 古墳の魅力について 8 内川の整備について 9 海外との交流について
広川恵美子 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 予算編成について 2 施設整備について 3 財政運営について 4 産業施策について 5 福祉施策について 6 SDG s への取り組みについて 7 内部統制について
大竹 辰治 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 財源があつたにも関わらず、コロナ対策が不十分だった一般会計補正予算（第8次）などについて 2 新型コロナ対策を中心とした区民のための新年度予算について 3 新空港線計画など区民の声にこたえていない都市計画マスタープランについて 4 気候変動に具体的な対策を求めているSDG s に対応した大田区環境アクションプランについて 5 区民の命と健康を守る国民健康保険制度について
松原 元 (令 和)	<ol style="list-style-type: none"> 1 予算編成過程の公表について 2 スマートワーク宣言について 3 観光課移管について 4 シティプロモーションについて 5 防災・減災力について 6 新空港線蒲蒲線事業と蒲田のまちづくりについて 7 親水化について 8 環境上不良な状態の住居について 9 区立障害者福祉施設整備計画について

令和4年予算特別委員会・しめくり総括質疑

質 疑 者	質 疑 事 項
荒木 秀樹 (令 和)	<ol style="list-style-type: none"> 1 まちづくりについて 2 防災対策の今後について
大竹 辰治 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について 2 G I G Aスクール構想について
末安 広明 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 持続可能な自治体経営について 2 在宅避難者への対応について 3 都市計画マスタープランで示すまちづくりの推進について

質 疑 者	質 疑 事 項
長野 元祐 (自 民)	1 人口動態について 2 声なき区民の声について 3 区民ニーズを捉えた施策展開について

令和4年決算特別委員会・総括質疑

質 疑 者	質 疑 事 項
渡司 幸 (自 民)	1 財政について 2 児童福祉について 3 産業振興について 4 まちづくりについて 5 環境について 6 教育について
末安 広明 (公 明)	1 財政について 2 基金について 3 新空港線とまちづくりについて 4 交通政策について 5 住宅政策について 6 保育政策について 7 教育について
佐藤 伸 (共 産)	1 大きな社会的注目と批判が集まっている統一協会と大田区の関わりについて 2 新型コロナウイルスパンデミックの中で、区民の生活を守るには不十分だった2021年度決算について 3 多額の区税投入が予想される新空港線計画について 4 コロナ禍と物価高騰の苦境に喘ぐ、区内中小・零細事業者支援について
松原 元 (令 和)	1 新空港線事業について 2 羽田イノベーションシティの活用について 3 地域力の活性化について 4 地域防災、地域防犯について 5 交通安全への取り組みについて

令和4年決算特別委員会・しめくり総括質疑

質 疑 者	質 疑 事 項
荒木 秀樹 (令 和)	1 新型コロナウイルスについて 2 産業について
佐藤 伸 (共 産)	1 コロナ禍と物価高騰の苦境に喘ぐ、区内中小・零細事業者支援について 2 区施設の管理・業務委託契約について
大橋 武司 (公 明)	1 特殊詐欺被害防止対策について 2 公民連携事業について 3 老いじたく推進事業について 4 特別支援教育について 5 不登校特例校について

質 疑 者	質 疑 事 項
湯本良太郎 (自 民)	1 決算から見る今後の大田区の区政運営について 2 新空港線整備について 3 大田区の子育て環境について 4 これからの学校教育について

* 予算特別委員会 会派名

(自 民) : 自由民主党大田区民連合	(エ ー ル) : エールおおた区議団 (立憲)
(公 明) : 大田区議会公明党	(フェア民) : フェアな民主主義
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(無 所 属) : 大田無所属の会
(令 和) : 令和大田区議団 (無所属5+維新1)	(フォーラム) : 東京政策フォーラム

* 決算特別委員会 会派名

(自 民) : 自由民主党大田区民連合	(立 憲) : 立憲民主党大田区議団
(公 明) : 大田区議会公明党	(フェア民) : フェアな民主主義
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(無 所 属) : 大田無所属の会
(令 和) : 令和大田区議団 (無所属5+維新1)	(フォーラム) : 東京政策フォーラム

(4) 請願・陳情

① 審査件数と処理内訳

内訳		名称	常任委員会					議会運営委員会	特別委員会				計
			総務 財政 政	地 域 産 業	健 康 福 祉	ま ち づ く り 環 境	こ ど も 文 教		オリ ン ピ ック パ ラ リ ン ピ ック 観 光 推 進	交 通 臨 海 部 活 性 化	羽 田 空 港 対 策	防 災 安 全 対 策	
前年からの継続	請願		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	陳情		4	2	6	6	2	0	0	0	1	0	21
令和4年付託分	請願		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	陳情		12	1	5	4	3	3	0	5	6	0	39
総計			17	3	11	10	6	3	0	5	7	0	62
採択	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和4年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計			3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
不採択	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和4年付託分	請願	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
		陳情	8	0	4	2	3	2	0	3	6	0	28
	計			9	0	4	2	4	2	0	3	6	0
取下げ	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和4年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	計			0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
審議未了	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和4年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	4	2	6	6	2	0	0	0	1	0	21
	令和4年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	1	1	0	2	0	1	0	2	0	0	7
	計			5	3	6	8	2	1	0	2	1	0

② 請願・陳情一覧（請願 2 件、陳情60件）

ア 総務財政委員会

17件（採択 3 件、不採択 9 件、継続 5 件）

受理番号	付託年月日	件 名	議決年月日	結果
元- 29	元. 6. 14	国連の「沖縄県民は先住民族」とする勧告の撤回を求める意見書の提出を求める陳情	4. 12. 8	継続
元- 30	元. 6. 14	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する陳情	4. 12. 8	継続
元- 50	元. 6. 14	新池上図書館へ移転後の旧図書館跡地の利用法についての陳情	4. 12. 8	継続
2- 16	2. 3. 4	性犯罪にかかわる刑法改正を求める意見書の提出を求める陳情	4. 12. 8	継続
4- 5	4. 2. 24	沖縄戦戦没者の遺骨が含まれる土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書採択の請願	4. 3. 4	不採択
4- 11	4. 2. 24	5 G の健康影響と基地局設置の状況について大田区として明らかにして頂く陳情	4. 3. 4	不採択
4- 12	4. 2. 24	国民健康保険料の値上げをせずに東京都に財政支援を求める意見書提出についての陳情	4. 3. 4	不採択
4- 18	4. 6. 16	国民の祝日「海の日」を 7 月 20 日に固定化する意見書の提出を求める陳情	4. 12. 8	継続
4- 20	4. 6. 16	中国の人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	4. 6. 24	不採択
4- 21	4. 6. 16	女性（女子）差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書に関する陳情	4. 6. 24	不採択
4- 26	4. 9. 14	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	4. 9. 26	採択
4- 27	4. 9. 14	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	4. 9. 26	採択
4- 28	4. 9. 14	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	4. 9. 26	採択
4- 29	4. 9. 14	75 歳以上医療費窓口負担 2 割化を中止するよう国に意見書をあげることを求める陳情	4. 9. 26	不採択
4- 44	4. 11. 30	再審法改正の促進を求める意見書を国会・政府に提出することを求める陳情	4. 12. 8	不採択
4- 50	4. 11. 30	大森西 2 丁目の東京都大田福祉工場宿舎跡地の暫定的利用についての陳情	4. 12. 8	不採択
4- 53	4. 11. 30	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	4. 12. 8	不採択

イ 地域産業委員会

3件（継続3件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
元- 82	元. 11. 28	馬込文士村記念館（仮称）開設のご検討への陳情	4. 12. 8	継続
元- 85	元. 11. 28	大森南地域に前の浦集会室に代わる公共施設を求める陳情	4. 12. 8	継続
4- 23	4. 9. 14	銭湯設置に関する陳情	4. 12. 8	継続

ウ 健康福祉委員会

11件（不採択4件、取下げ1件、継続6件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
元- 40	元. 6. 14	高齢者が安心して暮らせるための介護保険に関する陳情	4. 12. 8	継続
元- 65	元. 9. 13	近年急増する香害の実態調査及び啓発活動についての陳情	4. 12. 8	継続
元- 66	元. 9. 13	大田区精神障がい者グループホーム活用型ショートステイ事業に関する陳情	4. 12. 8	継続
元- 68	元. 9. 13	大田区後援事業に係る障害の合理的配慮の提供を促進することについての陳情	4. 12. 8	継続
3- 48	3. 9. 16	大田区の特別養護老人ホームの申し込み対象者（申し込みの条件）に関する陳情	4. 12. 8	継続
3- 49	3. 9. 16	大田区の特別養護老人ホームの優先度評価の申込期間（優先度評価の頻度）に関する陳情	4. 12. 8	継続
4- 9	4. 2. 24	5歳～11歳の子供への新型コロナワクチン接種当面のストップについての陳情	4. 3. 4	不採択
4- 35	4. 9. 14	新型コロナウイルス感染症に関する情報の公開と対策の検証を求める陳情	4. 9. 26	不採択
4- 37	4. 9. 14	大田区立赤松小学校周辺のきつえん所についての陳情	4. 9. 26	不採択
4- 51	4. 11. 30	介護保険制度の改善を求める陳情	4. 12. 8	不採択
4- 52	4. 11. 30	障害福祉サービスで視覚障害者が利用する同行援護居宅介護事業のSDGsに関する陳情	4. 12. 8	取下げ

エ まちづくり環境委員会

10件（不採択2件、継続8件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
元- 45	元. 6. 14	区民の意識を向上させ、環境を良くするため戸別収集の検討を求める陳情	4. 12. 8	継続
元- 46	元. 6. 14	汚れた廃プラ輸入規制に伴い、輸出が難しくなるので、大田区でも対策を求める陳情	4. 12. 8	継続
元- 83	元. 11. 28	西馬込駅西口前の歩道拡幅に関する陳情	4. 12. 8	継続
元- 84	元. 11. 28	カラスの被害・迷惑の調査及び繁殖抑制策に関する陳情	4. 12. 8	継続
元- 86	元. 11. 28	公園水泳場の利用料金を矢口区民センター水泳場と同じにすることを求める陳情	4. 12. 8	継続
2- 54	2. 6. 12	蒲田駅西口道路上「島」廃止を求める陳情	4. 12. 8	継続
4- 2	4. 2. 24	区道路側帯に通行の妨害になる障害物が設置、放置されないよう管理、監督を求める陳情	4. 12. 8	継続
4- 3	4. 2. 24	本門寺公園内（仮設）犬の広場閉鎖に関する陳情	4. 12. 8	継続
4- 40	4. 11. 30	ゴミの収集時間に関する陳情	4. 12. 8	不採択
4- 46	4. 11. 30	多摩川河川敷に関する陳情	4. 12. 8	不採択

オ こども文教委員会

6件（不採択4件、継続2件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
3- 13	3. 2. 25	保育園等近辺の危険な道路にキッズゾーンの設置を求める陳情	4. 12. 8	継続
3- 60	3. 9. 16	大田区立小学校における情緒障害特別支援学級開設に関する陳情	4. 12. 8	継続
4- 7	4. 2. 24	すべての子どもたちがすこやかに育つ大田区をめざす為の請願	4. 3. 4	不採択
4- 31	4. 9. 14	「児童・生徒の要望と実情に沿い学校に生理用品の無償配備を求める」陳情	4. 9. 26	不採択
4- 33	4. 9. 14	子どもの利用する施設での新型コロナウイルス感染症の検査体制確立を求める陳情	4. 9. 26	不採択
4- 34	4. 9. 14	子どもの利用する施設への『健康管理専門職員』の配置と増員を求める陳情	4. 9. 26	不採択

カ 議会運営委員会

3件（不採択2件、継続1件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
4- 10	4. 2. 24	海外親善訪問調査を取りやめることを求める陳情	4. 3. 4	不採択
4- 42	4. 11. 30	大田区議会ホームページでの請願・陳情審査結果開示方法に関する陳情	4. 12. 8	継続
4- 45	4. 11. 30	大田区議会議員の政務活動費に関する支払明細書及び領収書のネット公開を求める陳情	4. 12. 8	不採択

キ 交通臨海部活性化特別委員会

5件（不採択3件、継続2件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
4- 14	4. 6. 16	コミュニティバスに関する陳情	4. 12. 8	継続
4- 22	4. 6. 16	新空港線（蒲蒲線）事業に関する陳情	4. 6. 24	不採択
4- 32	4. 9. 14	第二段階を含む新空港線（蒲蒲線）整備計画を区民に分りやすく説明する事を求める陳情	4. 12. 8	継続
4- 41	4. 11. 30	コミュニティバスに関する陳情	4. 12. 8	不採択
4- 48	4. 11. 30	バス会社がバス停に上屋（屋根）とベンチを設置する際の費用の補助金交付を求める陳情	4. 12. 8	不採択

ク 羽田空港対策特別委員会

7件（不採択6件、継続1件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
元- 98	元. 11. 28	羽田空港の新ルート及びヘリコプター飛行コースに関する陳情	4. 12. 8	継続
4- 6	4. 2. 24	航空機騒音の規制強化を大田区から国に求める陳情	4. 3. 4	不採択
4- 8	4. 2. 24	屋内での低周波を含む航空機騒音の測定とそれが人々へ及ぼす影響の調査を求める陳情	4. 3. 4	不採択
4- 13	4. 2. 24	大田市場の着陸機、新仲七町会会館の離陸機の騒音機数が増えている現状検証を願う陳情	4. 3. 4	不採択
4- 30	4. 9. 14	渋谷の氷塊落下の原因究明と着陸機氷塊付着への対応策を国に求めてほしいと願う陳情	4. 9. 26	不採択
4- 36	4. 9. 14	増便対応も可能でしかも安心安全な従来ルートに戻すよう国への要望を求める陳情	4. 9. 26	不採択
4- 47	4. 11. 30	大騒音のみならず危険を伴うB滑走路西向き離陸を中止・撤回してほしいと願う陳情	4. 12. 8	不採択

(5) 決議・意見書

ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻を非難し断固抗議する決議

去る2月24日、国際社会の懸命な外交努力にもかかわらず、ロシア連邦はウクライナに対する軍事侵攻を開始した。

これは独立国に対する力による一方的な現状変更の試みであり、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法違反であるとともに、国際秩序の根幹を揺るがす行為として断じて容認できず、断固として抗議する。

幾多の試練を乗り越えながら、不断の努力によって人類が築いてきた信義と公正からなる国際社会の連帯を、このような暴挙によって踏みにじろうとすることは許されない。

よって、大田区議会はロシア連邦がすべての戦闘を無条件に停止し、軍をウクライナ領内からすみやかに撤退させるよう求めるとともに、当該地域の秩序と安寧が早期に回復されるよう強く訴える。

以上、決議する。

令和4年3月4日

大田区議会

奈須利江議員に対する問責決議

大田区議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び、安全かつ円滑な議会運営体制の確保のため、本年1月14日に「新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた視察等に関する申し合わせ」を取りまとめた。これにより、全ての議員は、東京都以外の自治体への視察等の際、新型コロナウイルスワクチンを2回以上接種していることを証明する書類、又は出発日前3日以内のPCR検査における陰性を証明する書類を議長に提出することが確認された。

議員それぞれがこの申し合わせの重要性を理解し、受け入れ先自治体等へ最大限の配慮をし、視察を実施してきたところである。

そのような状況の中、本年7月、奈須利江議員は、北海道夕張市への視察を申し出た際、本申し合わせの存在を知らず、議会が求める書類の提出を拒否し、議長の説得にも応じることなく、必要書類の提出がないまま視察を強行した。

これまで大田区議会では、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中でも、議会運営を滞らせることなく、議員一人ひとりがその職責を全うし、区民の信託に応えられるよう、本申し合わせの適切な履行のみならず、議会の内外においても様々な感染拡大防止策を講じると同時に、議員個々においても自覚と責任を持った行動を取ることを常に念頭においてきたところである。

こうした大田区議会における取り組みから大きく逸脱する今回の奈須利江議員の視察強行は、議会内の秩序を著しく乱すとともに、大田区議会に対する区民や受け入れ先自治体等の信用を失墜させる恐れのある許されない行為である。

よって、大田区議会は、議会内の申し合わせを無視して視察を強行した奈須利江議員に対し、このような行為を二度と繰り返すことのないよう猛省を促し問責する。

以上、決議する。

令和4年9月13日

大田区議会

固定資産税及び都市計画税の減免措置等の継続を求める意見書

我が国の経済状況は、令和4年9月に内閣府が公表した月例経済報告における景気の基調判断において、「景気は、緩やかに持ち直している。」とされており、「企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。」との報告がされている。

一方、区内中小企業を対象に景気動向を調査した令和4年4月から6月期の「大田区の景況」における業況では、製造業、運輸業は大きく持ち直したものの、小売業では前期並の厳しさが続き、建設業では悪化傾向がわずかに強まったとの報告がされている。また、来期の業況においても、建設業は今期並の厳しさが続き、製造業、運輸業は悪化傾向が強まると予想している。

さらに、いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症や物価高騰の長期化は、区民生活はもとより小規模事業者の事業経営にも多大な影響を及ぼしている。

このような中、東京都が従来から実施している小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税の減免措置等は、小規模事業者の事業継続や経営健全化に寄与し、また、多くの区民生活に対しても安定をもたらすものであり、欠くことのできない措置となっている。

こうした減免措置等について、東京都が廃止も視野に見直しを行おうとすれば、区内小規模事業者の経済的、心理的影響は極めて大きく、区内経済に与える悪影響が懸念される場所である。

よって、大田区議会は東京都に対し、以下の措置を令和5年度以後も継続することを求めるものである。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年10月12日

東京都知事 宛

大田区議会議長

子育て支援の拡充を求める意見書

少子化による人口減少は、我が国において最重要課題となっている。厚生労働省が発表した令和3年の出生数は81万1,622人で、6年連続で過去最少を更新した。大田区においても平成27年の6,120人をピークとして減少傾向が続いている。

こうした中、国や各自治体では、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化をはじめとし、少子化対策のために、様々な対策に取り組んでいるところであるが、多くの子育て支援策には所得制限が設けられている。それにより、多様な形態のある子育て世帯において、親の所得により線引きがなされ、支援を受けられる子どもと受けられない子どもという分断が、社会的な問題として取り上げられている。今年5月に開催された政府の税制調査会の総会では、仕事と育児の両立など働き方の変化に対応した税制のあり方における議論の中で、有識者の中から「現金よりも現物給付」という見解と併せて「大きな税負担を伴うが、同時に給付を手厚くするのがひとつの解決策だ」という問題提起がなされた。

児童手当に関しては、令和4年10月支給分から、所得制限限度額を超える世帯の特例給付が廃止されることが決定している。また、0歳～2歳の幼保無償化をはじめ、いわゆる高校無償化や大学無償化と呼ばれる各種支援制度のいずれにおいても所得制限が設けられ、そうしたしわ寄せが子どもの進路や将来の可能性を狭めることにつながりかねない。

こうした所得制限の設定により、手当や助成なども含めた総収入額が逆転してしまう不公平な現象が生じており、働けば働くほど子どもへの給付が無くなってしまおうという事態は、子育て世帯の就労意欲をそぎ、少子化をより一層促進させるおそれもある。

令和5年4月1日に公布される「こども基本法」には「全てのこどもについて、個人として尊重され、その基本的人権が保障されるとともに、差別的扱いを受けることがないようにすること」を基本理念の中で定めている。子どもと親の人権は別のものであり、親の所得にかかわらず全ての子どもが平等に扱われることこそが我が国の最重要課題である出生数の改善にも寄与する。

よって、大田区議会は、少子化の打開に資する効果的な子育て施策を講じるため、国及び東京都に対し、以下の事項を強く求める。

記

- 1 児童手当をはじめとした各種子育て支援策に対し、所得制限の撤廃も視野に入れ適正な再配分へと見直すこと。
- 2 上記の実現に必要な財源は、国及び東京都において確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和4年10月12日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣
東京都知事 宛

大田区議会議長

(6) 視察

① 委員会行政視察

ア 常任委員会

名称	視察先	調査事項	視察日
総務財政委員会	岩手県滝沢市	・ビッグルーフ滝沢(滝沢市交流拠点複合施設)について	8月22日 ～24日
	岩手県八幡平市	・東京2020オリパラにおけるルワンダの受け入れについて ・地中熱を活用した冷暖房施設等の財政効果について	
	宮城県仙台市	・AIチャットボットについて ・仙台市手続きガイド及びわたしの手続き案内について	
地域産業委員会	兵庫県神戸市	・起業家育成プログラム「500 Founder Academy」について ・Urban Innovation KOBE(アーバンイノベーション神戸)について	8月22日 ～24日
	奈良県奈良市	・国際文化交流プログラム「東アジア文化創造NARAクラス」について	
	京都府京都市	・地域企業「担い手交流」チャレンジプログラムについて	
	大阪府大阪市	・「商都大阪」活性化推進事業について	
健康福祉委員会	群馬県草津町	・介護予防事業等について	7月21日 ～22日
	長野県軽井沢町	・介護予防事業等について	
	静岡県浜松市	・災害時医療について	8月23日 ～24日
	愛知県豊田市	・重層的支援体制整備事業について	
まちづくり環境委員会	八戸セメント株式会社(青森県八戸市)	・受け入れ可能リサイクル品とリサイクルの仕組み 工場視察、八戸市との「包括連携協定」締結について	8月22日 ～24日
	北海道茅部郡森町、北海道電力株式会社森地熱発電所	・再生可能エネルギー施設視察	
	北海道札幌市	・平成30年胆振東部地震による清田区の大規模液状化被害後の住民への説明、地盤改良について ・SDGs未来都市計画(地方創生モデル事業)について	

名称	視察先	調査事項	視察日
こども文教 委員会	京都府京都市	・里親制度の取り組みについて	8月22日 ～24日
	岐阜県瑞浪市	・瑞浪市立瑞浪北中学校 スーパーエコスクールについて	
	愛知県豊橋市	・豊橋市立八町小学校 イマージョン教育について	
	NPO法人なが いく（愛知県長 久手市）	・子ども第三の居場所事業について	

イ 特別委員会

名称	視察先	調査事項	視察日
オリンピック パラリンピック 観光推進特別委員会	琴平バス株式会 社（香川県）	・うどんタクシーについて	10月26日 ～27日
	香川県	・うどん県に関する取り組みについて	
	高知県	・第2期高知県スポーツ推進計画Ver. 5につ いて	
交通臨海部活性化 特別委員会	大阪府大阪市	・なにわ筋線について	12月22日 ～23日
	Osaka Metro （大阪府大阪市）	・「AI オンデマンド交通」社会実験エリアの 拡大について AI オンデマンドバス試乗、Osaka Metro の取組	
羽田空港対策 特別委員会	那覇空港（沖縄 県那覇市）	・那覇空港の鳥衝突防止現地対策について ・那覇空港の新滑走路とコロナ禍、悪天候対 策について	10月19日 ～20日
	那覇商工会議所 （沖縄県那覇市）	・那覇空港の中長期構想について	
	一般財団法人沖 縄ITイノベーシ ョン戦略センタ ー（沖縄県沖縄 市）	・大田区とのMOU締結について ・那覇空港コワーキングスペース等について	
防災安全対策 特別委員会	熊本県熊本市	・熊本地震からの復興状況について（熊本城）	10月20日 ～21日
	陸上自衛隊 北熊本駐屯地	・熊本地震における地方自治体と自衛隊との 連携について	

② 行政視察受入

No.	受入月日	議会名	委員会・会派の名称	人数(人)	調査事項
1	3月30日	福岡県福岡市議会	自由民主党福岡市議団	5	大田区立障がい者総合サポートセンター さぼーとびあについて
2	5月10日	京都府城陽市議会	文教常任委員会	11	大田区電子書籍貸出サービスについて
3	7月13日	宮崎県宮崎市議会	市民経済委員会	10	国家戦略特区（民泊制度・まちづくり）について
4	7月14日	鹿児島県鹿児島市議会	市民文教委員会	10	不登校特例校分教室「みらい教室」について
5	7月20日	北海道釧路市議会	公明党議員団	4	嶺町小学校におけるPTOの取り組みについて
6	7月27日	群馬県高崎市議会	市民経済常任委員会	11	新産業創造・発信拠点「HANEDA×Pi0」について
7	7月27日	愛知県名古屋市会	自由民主党名古屋市会	1	公園の整備・運営のあり方について
8	8月31日	東京都小金井市議会	自由民主党・信頼の小金井みらいのこがねい	5	ハト・カラスへの給餌による被害防止条例
9	10月13日	愛知県大府市議会	厚生文教委員会	6	スポーツ健康都市宣言について
10	10月14日	広島県府中市議会	建設常任委員会	7	中小企業産業振興（ものづくり企業、町工場）について
11	10月17日	神奈川県川崎市議会	公明党川崎市議会議員団	1	大田区ハト・カラスへの給餌による被害防止条例について
12	10月18日	愛知県名古屋市会	減税日本ナゴヤ	3	SLの動輪可動展示について
13	10月20日	千葉県成田市議会	空港対策・機能強化等推進特別委員会	15	羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（羽田イノベーションシティ）について
14	10月21日	福岡県北九州市議会	自民党・無所属の会	2	先端産業事業の取組について 共通事業の取組について スマートシティの構築に関する取組について
15	10月25日	熊本県熊本市議会	公明党熊本市議団	1	不登校特例校「御園中学校みらい教室」について
16	10月27日	富山県高岡市議会	議会運営委員会	12	議会傍聴について
17	10月31日	東京都府中市議会	議会運営委員会	12	タブレット端末を活用した議会運営について

No.	受入月日	議会名	委員会・会派 の名称	人数 (人)	調査事項
18	11月8日	秋田県秋田市議会	議会運営委員会	11	傍聴の取組について
19	11月9日	神奈川県横須賀市議会	環境教育常任委員会	12	不登校特例校（大田区立御園中学校）について
20	11月9日	山口県山陽小野田市議会	創政会	9	議会におけるICT化の取組について
21	11月15日	北海道室蘭市議会	令和新緑会	2	住宅確保支援事業について
22	12月22日	青森県八戸市議会	公明党	3	生活支援付すまい確保事業について

(7) 親善訪問調査

① 期間、場所等

ア 長野県東御市議会親善訪問

派遣期間 令和4年4月26日（火）から4月27日（水）まで

派遣場所 長野県東御市

派遣議員 岸田哲治、大森昭彦、鈴木隆之、湯本良太郎、長野元祐、岡元由美、
小峰由枝、田島和雄、末安広明、大竹辰治、荒尾大介、松原元、須藤英児、
荻野稔

イ 宮城県東松島市議会及び秋田県美郷町議会親善訪問

派遣期間 令和4年10月31日（月）から11月2日（水）まで

派遣場所 宮城県東松島市及び秋田県美郷町

派遣議員 高瀬三徳、大森昭彦、鈴木隆之、渡司幸、海老澤圭介、松本洋之、田村英樹、
椿真一、田島和雄、佐藤伸、杉山公一、三沢清太郎、須藤英児、庄嶋孝広

② 報告書

ア 長野県東御市議会親善訪問報告書

■訪問の概要

大田区と「友好都市提携協定」及び「災害時における大田区と東御市との相互応援に関する協定」を締結している長野県東御市及び東御市議会との友好・親善の促進を図るため、親善訪問を行った。2日間にわたる訪問では、花岡利夫市長、長越修一議長、佐藤千枝副議長をはじめ東御市議会議員の皆様から温かい歓迎を受けた。

東御市庁舎で行われた議員研修会では、東御市の重点施策を伺い、災害時の相互応援協定について再確認するとともに、意見交換を行った。このほか、令和元年に発生した台風19号の被害及び復旧状況についてご説明いただき、翌日、復旧後の海野宿橋を視察した。

今回の親善訪問によって、双方の活性化につながる重要な交流ができ、今後も更なる友好交流を深めていくことを確認した。

■訪問先

東御市役所 東御市議会 海野宿橋

■参加議員の感想

・4月26日より2日間の行程にて、友好都市である東御市及び東御市議会を訪問した。新型コロナウイルスの影響で約3年ぶりとなる訪問であった。市長・議長からはこの間の東御市の状況をご報告いただき、先の台風19号からの復興状況等の説明がなされた。東御市とは人的、文化的交流のみならず、災害時における相互応援に関する協定が締結されている。近年激甚化する風水害をはじめ、震災への備えなど、これからも両都市が平時より緊密に連携し、これからも多方面での協力ならびに交流を促進させていきたい。

・令和元年12月の訪問から2年半ぶりの訪問でした。この間に東御市議会は改選があり、17人中8人が交代されましたが、懐かしい方々ともお会いでき、短い時間ながら友好を深めることができました。前回の訪問の際は、直前の台風19号で崩落した海野宿橋を目の当たりにして、自然災害の脅威に身のすくむ思いでしたが、2年半を経て、見事に復旧し開通した現場を確認することができ、ふるさとが蘇生したかのように心から安堵しました。



東御市役所前にて

・令和元年10月12日の台風19号は、日本全国広範囲で甚大な被害が発生しました。大田区と「災害時における相互応援協定」を締結している東御市も大田区同様大きな被害を受けましたが、共に被害が発生したもので応援は行われませんでした。数百年に一度と言われる記録的な大雨の被害が出た東御市千曲川の橋、堤防、道路の復旧工事が本年完了しました。災害からの被害を少なくするには、インフラ整備と同時に災害発生時に必要な情報を発信していく、備蓄の整備等は重要ですが、一人ひとりが平時から災害に対して備えておくことがより重要と考えます。

・4月26日大変久しぶりの東御市及び東御市議会に訪問ができ大変良かったと感じた。前回は、台風の影響を受けた跡の訪問となり、落橋してしまった田中橋、ここでは人命の被害も出ており、痛ましい事故であったが、既に復旧されていた。また、史跡である海野宿への道路と橋梁も流されていた訳で、今度の訪問では、時間をかけ復旧されたところを確認できた事に案内してくれた事務局職員と共に喜んだところであった。今後も花岡市長さん中心に当方と交流事業を拡充していくことで意見交換ができて大変有意義な訪問であった。

・コロナ禍の中、友好親善訪問を受け入れて下さった東御市に感謝申し上げます。大田区、東御市双方ともに現地に訪れ各区市の行政施策を学ぶことが困難な中、東御市の台風19号による被害の状況と復旧過程の説明を受け、現地を視察できたことは、大変有意義でした。東御市で最も雨量の多かった地域は、1日の雨量が300ミリを超えていた。大田区では、雨量が220ミリ程度であった事を考えると猛烈な雨が降ったことが想像できます。その状況下で避難や移動、命を守る行動をどの様にとったのか話を伺った事は大田区の防災対策を組み立てる上で参考とし、議会の立場から情報発信していきたいと思えます。



東御市議会議場にて

・台風19号における千曲川堤防決壊水害について東御市役所及び決壊現場において講義と視察を行った。信濃川水系中流である同市と多摩川下流域である大田区田園調布での水災は規模、性質において異なるが、発災時の情報伝達のあり方、避難、誘導の課題や被災者の行動心理等については、学ぶべき事柄が多く、特に電気、ガス等のインフラがダウンしている状態での行政の支援行動への見直しが必要であると痛感した。

・令和元年台風19号における東御市道白鳥神社線の護岸が一部損傷、海野宿橋が一基崩壊などの被害の災害復旧事業を主に視察させていただきました。・1時間に約300mmの降水量の雨が降った。・千曲川の蛇行の地点に大きな水圧がかかった。・上流からの増水が大量に加わった。など幾つものリスクが重なった被害であり、東京に繋がるガスパイプラインの破管・ガス流出など、お話を伺うと想定を遥かに超える内容でした。大田区においても多摩川・呑川・内川など万全な対策はできていても、想定外の状況が起こっても安全か否かをもう一度確認し、視察で学んだことを活かしてまいりたいと思えます。

・コロナ禍でなかなか訪問できなかつたところですが、平成4年に東御市の前身の旧・東部町との交流が始まってから30年の節目である本年、ようやく親善訪問をさせていただくことができ感無量です。26日に市役所を訪れ、市長・市議会議員にお会いする機会に恵まれました。まず最初に、市長がオリンピック東京大会のホストタウンとしてウクライナの隣国であるモルドバ共和国の選手を受け入れたことをお話しされた際、一日も早い停戦と安寧を願わずにはられません。また、「適地適作」は、農産物に限らず政策においても同様であるというお話には唸りました。その後の議員研修会で令和元年台風19号の際の市の対応と

被害状況の課題・問題点で触れられた、「災害時の分掌事務の整理と役割分担の明確化」「職員も被災者になることから参集可能人員の把握と応援職員の派遣」「市民が必要とする情報を適切なタイミングでどう提供していくか」「市民の防災意識の啓発」「災害への備えとして



大田区・東御市議会議員研修会

タイムラインの作成」という点は、大田区においても大変重要な観点です。翌27日は、災害現場である海野宿橋の復旧状況を視察しました。橋のたもとの千曲川の堤防は、流れが当たる部分がコンクリートでしっかり補強してありました。ハード・ソフト両面からの対策が強化されていることがわかりました。今後も防災協定を締結している大田区と東御市が更に交流を深め、お互いに防災・減災施策を深化し続けることができれば、協定を締結している意義があると思料します。

・東御市親善訪問団の一員として、この度の親善訪問に参加させていただきました。コロナ禍となってより2年以上、一切の区外視察等が中止となるなか、友好都市提携の協定締結がなされてより30年となる本年、今回の親善訪問が久しぶりに行われました。限られた時間での情報交換の場となりましたが、有意義なものとなりました。両都市で大きな課題となった令和元年台風19号の被害状況やその後の対応について、情報共有させていただくと共に、近年の市の取組に対する市長のご挨拶の中で、「適地適作」という言葉を紹介され、長年目指してきた工業団地の誘致構想は叶わなかったものの、高地に位置する市の立地上の特性を活かしてワイン生産やそのためのぶどう栽培が大幅に増え大きな産業になってきていること、陸上トラックやプール建設を進めてきたことによる高地トレーニングのメッカとなっていることなどをご紹介いただきました。「適地適作」という言葉は、まさに本区においても重要な視点であり、これまで以上に区の特性をどのように掴み、磨いていかなければならないか。そのことを改めて教えていただく思いでした。今回の訪問をきっかけに、中止となっている子どもたちの休養村とうぶでの野外活動体験やO T Aふれあいフェスタでの交流が、一日も早く再開されることを願うばかりです。

・2019年10月の台風19号災害対応に係る検証結果等についての視察となりましたが、数百年に1度といわれる災害が、毎年のように世界中、日本、大田区でも起こるような状況があり、応急対処と共に根本的な対処として気候変動危機打開の取組が必要と感じました。また、災害時における相互応援に関する協定を確認してきたことと、FM放送により緊急情報の発信では、大田区でも防災無線が届かない地域への対応として提案してきましたが今後の課題と考えています。コロナ禍で、実施が危ぶまれる状況もあり、東御市の市議会議員との交流も、市役所内だけとなり大変残念でした。



復旧した海野宿橋の視察

・2019年台風19号の東御市における被害状況と河川、橋梁の復旧状況について、現地視察ができたことは貴重な経験となりました。実際に現地を訪れることで被害の実態を肌感覚で感じ、市民のいのちを守るために災害対応に当たった市役所の皆様が懸命の奮闘をされたことに感銘を受けました。被害状況が甚大であったものの、復旧にあたっては国の権限代行で自治体の負担が少なく済んだことを市の担当者の方が話されていましたが、復旧に2年以上の歳月がかかったことで、被害の大きさを改めて痛感しました。また、情報伝達手段としての防災ラジオの重要性も改めて確認しました。

・冒頭、このコロナ禍において、令和4年4月26日から27日にかけて、東御市議会親善訪問の機会を頂いたことに心から感謝する。今回の親善訪問は、区民施設（大田区休養村とうぶ）が設置されるなど、大田区と友好都市関係にある東御市の議会訪問及び、令和元年に発災した台風19号で大きな物的被害を被った同市内海野宿橋付近の視察が大きな目的であったと理解している。一部予定とは異なる出来事があったものの、鈴木隆之議長及び随員職員の臨機応変な対応がなされたことは、大変ありがたい事であったと考える。初日の議会訪問は、大変和やかな雰囲気のもと実施された。ぜひ議会間だけでなく、今後の両行政間での共助の維持発展が益々なされることを期待したい。また、同じ会派の須藤英児議員が、大変東御市に精通した質問を行ったところ、東御市行政が迅速に対応されたことに感銘を受けた。なお、自己紹介時に、「当会派が令和新撰組との関係がない。」旨の発言をしたところ、会場内が騒めいたことは少し残念に感じた次第である。翌日の海野宿橋視察は、晴天の中で行われた。台風19号で破壊、一部流失した橋は完全に復旧されていたが、被災直後の写真と見比べてみて、自然の猛威を白昼夢のように感じた次第である。現地では、東御市行政より災害復旧事業の経過に関する説明も受けたが、国との調整の難しさ、金銭面での行き違い等を強く感じた。多摩川を筆頭に多数の河川が流れる大田区においては、人的被害は言うに及ばず、インフラ面の被害も出さぬよう事前の備え対策に万全を尽くす必要があると改めて考える視察となった。

・2年4か月ぶりに東御市の市長・市議会議員の皆様と再会することができました。前回は崩落した海野宿橋を見学し、今回は復旧・開通した海野宿橋とその周辺地域を見学することができました。100万年以上前に多摩川流域にもいたアケボノ象、東御市では5個体分の化石が確認され、新たな発見が期待されます。

・平成4年より交流が始まり、平成8年に友好都市協定を結んだ東御市（旧東部町）に親善訪問に伺った。コロナ禍、初となる親善訪問であり、私も久しぶりに訪問をさせていただいた。ちょうど、コロナ禍前年の19号による被災について気になっていたため、今回、海野宿橋の復旧現場を見ることができたことは大変、ありがたい機会であった。受け入れに感謝する。大田区休養村とうぶに宿泊させていたのも久しぶりの機会となった。親善訪問を機に友好を深めることはもちろん大切であるが、区民の代表である我々議会が訪問し、親善を深めることでどういう利が区民にあるのか、影響があるのかそのことは引き続き、検証していきたいと考える。

イ 宮城県東松島市議会及び秋田県美郷町議会親善訪問報告書

■訪問の概要

大田区と「友好都市提携協定」及び「災害時における大田区と東松島市との相互応援に関する協定」を締結している宮城県東松島市及び東松島市議会並びに秋田県美郷町及び美郷町議会との友好・親善の促進を図るため、親善訪問を行った。

3日間にわたる訪問で、東松島市では小野幸男議長、渥美巖市長、美郷町では松田知己町長、森元淑雄議長をはじめ、両都市の多くの皆様から温かい歓迎を受けた。

東松島市では令和4年3月に起きた地震の対応や今後の課題等の説明をいただき、震災復興伝承館にて復興状況等について視察を行った。

美郷町では幅広い分野における相互交流の重要性について意見交換を行い、奥羽山脈を貯水水源とし、名水百選にも選定された「六郷湧水群」の視察を行った。

今回の親善訪問によって、両都市と各分野に係る情報交換ができ、今後更なる友好交流の活性化を図ることを確認した。

■訪問先

東松島市役所 東松島市議会 震災復興伝承館
美郷町役場 美郷町議会 六郷湧水群

■参加議員の感想

・ 去る令和4年10月31日から3日間の行程で、友好都市である宮城県東松島市、および秋田県美郷町へ親善訪問を行った。東松島市は東日本大震災時の連携から、平成23年7月より災害時相互応援協定を締結しており、当時の被災状況を再度確認しながら、被災時の教訓を活かした災害時の対応と、防災力を強化させた新たな都市形成の説明を受けることができた。そして東松島市議会議員の方々と共に、今後の両都市の関係強化と発展を改めて確認をした。

翌日はバスで移動し、次の目的地である美郷町を訪問した。大田区六郷と美郷町合併前の旧六郷町をご縁に始まった交流は、現在でもOTAふれあいフェスタへの参加や、住民同士の相互交流など、着実に親密な関係性を築いてきている。

美郷町は、ラベンダーや湧水群など、自然環境豊かな町であり、それらを活かした観光振興施策等に関して説明をいただいた。

現在は、新型コロナウイルスの関係で、それぞれの都市との交流はここ数年活発には行われていないが、状況が安定した際には、更なる関係発展のため力強く交流が再開できるよう願っている。



東松島市との意見交換会

・東松島市とは震災以降、民間レベルでの交流事業が活発ですが、これに合わせて教育・文化・観光など幅広い交流を推進することや、意見交換会でご報告頂いた福島県沖地震の状況をお聞きし、大田区議会災対本部の設置・運営における情報共有の重要性を再認識しました。一方美郷町では、大田区六郷地区との30年来の交流の歴史を重んじつつ、美郷町の観光資源を活かした交流促進や、特産物における産業振興など協働できる分野の裾野を広げる取組みの必要性を感じました。

・東松島市へ親善訪問に伺わせていただきました。市庁舎で市議会との意見交換をいたしました。東松島市とは、東日本大震災からの付き合いであり、大田区が被災地支援を、区と民間団体企業、個人ボランティアとの協力のもと、いち早く行動したことを鮮明に覚えております。震災復興伝承館では、様々な説明を伺い、その当時の状況が推察され、今日では目覚ましい復興を遂げております。これからも友好都市として民間交流を含め、更なる交流を望むものです。



東松島市議会議場にて

美郷町訪問をさせていただき、町長や議長をはじめ議会の方々と意見交換をいたしました。美郷町は、当時の六郷町と、大田区の六郷地区との交流から始まり、今は町村合併により美郷町になったものです。美郷町は、自然豊かで湧水でも有名などころでもあります。それを利用し、農作物等を産物としたり、同町をアピールしております。また、隣の大仙市の新幹線の大曲駅前には、美郷ラベンダーの花壇を設置するなど、様々な町おこしを考えております。大田区も美郷町の事例を参考にしながら区のアピールを考えていかなければいけないと感じています。

・10月31日（月）に、友好都市である東松島市と東松島市議会を訪問した。当日は、渥美巖市長始めとする、行政関係者と小野幸男議長を始めとする各委員会委員長の9名の皆さんの出迎えを受けた。会議では東日本大震災発生当時の話題から、復興に向けた取り組みの結果、内容について説明を受けた。また、去る3月16日に発生した福島県沖地震に伴う東松島市の被害状況の説明を受け、罹災証明申請件数607件に対し、証明書の発行が607件に及んだとのことであった。公共施設においても被害が出て、金額にして6億5千294万円程になったとの事で、海岸線を持っている自治体として災害の備えが日々大変である状況を確認し、旧野蒜駅後にある震災復興伝承館にて、大震災の記録を拝見してきた。今後の双方の協力体制を確認してきた。

11月2日（水）に友好都市である秋田県美郷町と美郷町議会を訪問した。当日は、松田知己町長を始めとする町役場の職員と、森元淑雄町議会議長を始めとする各委員会委員長の議員5名の出迎えを受け、庁舎内会議室に於いて懇談をした。



震災犠牲者慰霊碑

松田町長からは大変な歓迎のご挨拶を頂き、古くから大田区の六郷と市町村合併前からの旧六郷町とのお付き合いの歴史や災害時の湧水の支援提供など、防災協定などの基本的なお話や、地場産業であるお米の話や水にまつわる酒の話など。産業の活性化などの取り組みについて伺い、湧水の現場を視察させていただきました。奥羽山脈からの豊富な水資源を拝見し又、双方の交流が益々盛んに取り組まれることを期待した。

・東松島市震災復興伝承館では、改めて被害の大きさや復興までの道のりについて学ばせていただきました。東松島市議会の皆様からは大田区に対する感謝のお言葉をたくさん頂戴いただきましたが、今後も、行政・議会・民間とそれぞれの立場での交流を継続していくことが重要であると感じました。

また、美郷町議会では、今回は親善訪問という形で訪問をさせていただきましたが、今後は災害時防災協定をテーマにした意見交換なども行わせていただきながら相互の防災行政の発展に資する交流を促進していくことが大切であると考えます。

・今回、東松島市への親善訪問をさせて頂き、自身も2011年にボランティア活動のお手伝いに参加して以来の訪問となりました。

当時、震災の甚大な被害を受けた災害現場を実際に訪れて目の当たりにし自然災害の恐ろしさを痛感したことを記憶しています。今回、訪問させて頂きました旧野蒜駅は新たに線路を高台への移設し、旧野蒜駅プラットフォームを震災遺構、追悼の広場、震災復興伝承館が設置され、館内では、これまでの交流や震災の記憶を風化させない取り組みを視察させていただきました。



震災遺構（旧野蒜駅プラットフォーム）

市議会の皆様との交流の際には、震災当時の行動やその後の対応や復興への取り組みを聞かせて頂き、災害対策に役立てられる経験となりました。

一方、美郷町では、六郷湧水のひとつである御台所清水を視察させて頂き、清水を生かしたお米やお酒など特産品などの紹介も受け、お米に関しては秋田のブランド米である「サキホコレ」は新米として実際に食べることができました。このような特産品や自然豊かな地の利を生かした観光施策など大田区の観光に活かせることが無いかなど学び多き親善訪問となりました。

・東松島市には震災以来、数回のボランティアと防災対策特別委員会の視察で訪れたことがあるが、数年ぶりの市内は道路の整備もなされ、新しい家や学校、仙石線も高台に新たな駅が整備され、緑が蘇った復興の姿を見て嬉しく感じた。交流会を通し発災の際の議員としての行動のあり方や議会内の活動について種々意見交換が出来、有意義であった。



震災復興伝承館

一方、美郷町は2回目の訪問となった。意見交換のなかで、美郷町議員から特に子育て支援に力を入れている取り組み、住んでいて良かったと思わせていただく施策を進めたいとの意見は同調できた。豊かな自然と空気、そして湧水に触れ、益々、本区との友好が進むよう願うものである。

・この度、10月31日～11月2日の日程で、東松島市・美郷町へ議会を代表した親善訪問団の一員として参加させて頂いた。特に印象に残ったのは、美郷町議会との意見交換会において、「町民満足度を高める取り組み」について質問したところ、「子育て支援」について、高校生までの医療費の無償化や町独自で出産一時金の給付など、過疎化が進む街だからこそ、国の動向よりも先に「子育て支援の充実」を開始されていた。本区においても、若い夫婦が安心して子供を産み育てやすい街をつくろうと決意した。

・東松島市では、令和4年3月に発生し、市で最大震度6弱を観測した福島県沖地震について被害・対応状況についての説明後、質疑応答しました。市議会議員から避難のための道路の整備や建物の耐震化が課題であると伺いました。

美郷町では、町議会議長から今後の交流のさらなる深化について提案がありました。大田区議会として検討しても良いのではと思います。美郷町ではもう少し滞在して地元の方々と交流をしたかったと感じました。



美郷町意見交換会

・私は東松島市には11年前の東日本大震災直後の5月に初めて訪問して以来、今回で5回目の訪問になります。今回も市議会との懇談や震災復興伝承館で伺った話から防災対策に意識高く取り組んでいることを学びました。特に瓦礫処理事業には市民の協力得た分別作業事業など勉強になりました。

美郷町は2回目の訪問ですが、町議会との交流で小規模自治体ですが、子育て支援に力を入れている事を学びました。

・東松島市では「全世代に住みよいまち」をめざしています。震災の復興で、地域新電力を進めています。震災時には電力がなくなり、病院での電源確保が課題となり電力を地域で賄う必要性から地域新電力を立ち上げたと聞き、大田区でもこのような電源確保が必要と感じました。

美郷町では、小学校・中学校への入学祝い金を一人につき3万円支給、子育て支援に力を入れています。大田区でも必要と感じました。

・東松島市議会の皆様と様々な意見交換を行った。私からはブルーインパルス の 勇姿に多くの都民が励まされたと感謝申し上げ、いつの日かまた東京上空を飛ぶ時があればもう少し大田区に近いところも飛んでいただけると大田区民はとても喜ぶし東松島市の事をもっと知ろうと思っ て くださるとお伝えした。元ブルーインパルスパイロットの現職東松島市議会議員は早速仲間に話して くださるとのこと、実現可能性は低いと思うが、今後に期待を抱かせる意見交換を行えた。



美郷町議会議場にて

秋田県美郷町議会の皆様と意見交換を行った。私からは源義家は大森の鎧掛けの松と秋田の後三年合戦に共に登場する共通項があるので、歴史面から繋がりを深めると面白いのでは、と投げかけた。大田区には源頼義、義家父子が、大杉の梢高く源氏の白旗をかかげて武運長久を祈ったとされる六郷神社もある。新田神社の武者行列のように仮装するもよし、Zoom等で各地を繋ぐもよし、何か出来ないか色々と考えてみたい。

・平成23年4月以降、復旧活動が縁で、東松島市には50回以上訪問しています。今回の親善訪問では、議員同士の活発な情報交換が出来、大田区と東松島市の交流はさらに深まったと感じます。これまで東松島市が経験してきた被災した方々の住まいの再建のための防災集団移転、産業施設の整備、復旧・復興事業等、様々な学びを頂きました。これからも、お互い



美郷町役場前にて

に訪問し合い、顔の見える関係を増やし、交流を続けていきたいと思 います。

美郷町議会を訪問し、それぞれの地域の現状を報告し合い、活発な意見交換を行い、交流がより深まりました。美郷町は各所で湧水が見られ、水の美味しいところ、令和4年デビューした、秋田米の新品種「サキホコレ」を使った美味しいご飯を朝食で頂く事も出来ました。美郷町からは、大田区のOTAふれあいフェスタや各種のお祭りなどに来て頂き、大田区からは雪体験や竹うちツアーなどに積極的に参加し、交流を深めたいと考えます。

・東松島市と友好都市となったきっかけは、平成23(2011)年の東日本大震災。大田区が区民との協働で、甚大な津波被害を受けた東松島市の応援に入ったことでした。今回、市議会議員の皆さんからも、たくさんの感謝の言葉をいただきました。被災した旧野蒜駅を活用した東松島市震災復興伝承館には、大田区とのつながりを紹介するコーナーもあり、区民の皆さんが築いてくださった東松島市との縁(えにし)を大切にする思いを新たにしました。

美郷町は、奥羽山脈と出羽山地に囲まれ、町内で126ヵ所の湧水が確認されている「清水の郷」。役場を訪問した後、六郷の湧水群を見学しました。豊かな湧水は美味しいお米やお酒を生んでいます。平成20(2008)年に水環境保全条例を制定。ブナの植樹にも取り組んでおり、町議会議長から区議会議長に対してお誘いもありました。

町長からも、人口減少に対して大田区との交流を重視しているとの話があり、互いに何ができるか考えたいです。



六郷湧水群「御台所清水」

(8) その他

① 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

大田区議会では、令和2年2月7日に、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大を受け、「議会新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、以降、積極的に会議を開催し、区民生活や区内産業を支援するため、「緊急要望」などを区長に対して行ってきた。

また、議員自身が新型コロナウイルスの知識や対応策の理解を深め、区民の先頭に立って感染症対策に取り組むため、東邦大学教授で日本感染症学会監事としても活躍されている舘田一博氏の知見を借りながら、区議会全体で新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできた。

令和4年中の新型コロナウイルス感染症に対する主な取り組みについては以下のとおりである。

ア 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた視察等に関する申し合わせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、大田区議会議員の親善訪問調査、委員会行政視察、会派視察などの都外出張（以下、「視察等」という。）及び本区での視察受け入れに関し、以下のとおり対応することとした。

(a) 他都市への視察等について

東京都又は訪問先において、緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発出されている期間は視察等を実施しない。

視察等を実施する際の要件として、視察等に参加する者は、以下のいずれかの書類等を議長に提出するものとする。

- ・新型コロナウイルスワクチンを2回以上接種していることを証明する書類
- ・新型コロナウイルスPCR検査における陰性を証明する書類（視察等出発日前3日以内の検査）
- ・体外診断用医薬品抗原検査における陰性を証明する書類等（視察出発日前日の検査）

また、訪問先が視察等の受け入れに際し、別途条件を付された場合は、それに従うものとする。

(b) 本区への視察等の受け入れについて

東京都において、緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発出されている期間は、視察の受け入れを行わない。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を鑑み、所管部局等から受け入れが困難であるとの申し出があった場合、又はその受け入れに際し条件を付された場合は、それを優先するものとする。

イ 本会議・委員会

本会議及び委員会では、引き続き、本会議場においては議長席、演壇、答弁席など、委員会室においては、委員長席、委員席に「アクリル製飛沫防止パネル」を設置している。また、会議中室内の換気を行うため、出入口扉を常時開放するなどの対応を行っている。



ウ 傍聴者への対応

傍聴者の健康を守るため、議会傍聴の際には、マスクの着用、手指消毒及び十分な間隔を空けての着席などについてお願いしている。



② 議会におけるICT化の取り組み

令和4年中の議会におけるICT化の主な取り組みは以下のとおりである。

ア 音声認識文字変換ツール「UDトーク」の本格導入

～議会を傍聴しやすい環境の実現～

聴覚障がい者や聴力の低下した方などが、より一層議会を傍聴しやすい環境を整備するため、議場内にモニターを設置し、音声認識によるリアルタイム文字表示を行うシステムを導入した。

(経過)

令和3年第4回定例会から 試験導入

令和4年第1回臨時会から 本格導入



発言内容をモニターに文字表示している様子

イ グループウェア（LINE WORKS）の本格導入

～議会内の効率的な情報共有の体制づくり～

議会内（議員・議会事務局）の連絡、災害時における安否確認等の緊急連絡、その他情報共有のツールとして、グループウェア（LINE WORKS）を導入した。

(経過)

令和2年10月から 試験導入

令和4年1月から 本格導入

③ 防災訓練

ア 委員会防災訓練

実施日 令和4年1月14日（金）（常任委員会開会前）

参加者 委員会出席者（委員、区職員）、事務局職員

想定 常任委員会開会中に大田区内に最大震度5強の大規模地震が発生

- 目的
- ・身の安全を守る（命を守る3動作）
 - ・議事の進行確認（議事運営訓練）



委員会室での訓練の様子



議長室での情報収集の様子

イ 議会防災訓練

実施日 令和4年6月15日（水）（令和4年第2回定例会第1日終了後）

参加者 議会出席者（議員、区長、副区長、区職員）、傍聴者、事務局職員

想定 本会議中に東京湾北部を震源とする震度6強の地震が発生

- 目的
- ・身の安全を守る（命を守る3動作及びヘルメット着用訓練）
 - ・議事の進行確認（議事運営訓練）
 - ・議会災害対策本部の設置運営訓練（オンラインでのビデオ通話訓練など）



議場での訓練の様子



議会災害対策本部の設置運営訓練の様子

④ 議員研修会

ア 令和4年第1回目

実施日 令和4年2月28日（月）午後2時から午後4時まで

参加者 議員41名、理事者

会場 第5・6委員会室（オンラインでも同時開催）

講演内容 ヤングケアラーについて

講師 日本女子大学 名誉教授、一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事
堀越 栄子氏



令和4年第1回目 議員研修会の様子

イ 令和4年第2回目

実施日 令和4年10月6日（木）午後2時から午後4時まで

参加者 議員39名、理事者

会場 第5・6委員会室（オンラインでも同時開催）

講演内容 災害時の議員の役割（心得）

講師 明治大学名誉教授 青山 侑 氏



令和4年第2回目 議員研修会の様子

3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員

(1) 歴代議長

代	氏名	在任期間						
初代	永久保新蔵	昭和22年	5月	26日	～	昭和23年	6月	25日
2代	太田 己信	昭和23年	6月	25日	～	昭和24年	5月	30日
3代	太田 己信	昭和24年	5月	30日	～	昭和25年	5月	30日
4代	松本 鶴二	昭和25年	5月	30日	～	昭和26年	4月	29日
5代	落合 銛行	昭和26年	5月	28日	～	昭和27年	5月	29日
6代	松本 鶴二	昭和27年	5月	29日	～	昭和28年	6月	2日
7代	橋爪儀八郎	昭和28年	6月	2日	～	昭和29年	6月	1日
8代	門倉 傳造	昭和29年	6月	1日	～	昭和30年	4月	30日
9代	橋爪儀八郎	昭和30年	5月	26日	～	昭和31年	3月	14日
10代	小原 義雄	昭和31年	3月	14日	～	昭和32年	4月	8日
11代	大山 正行	昭和32年	4月	8日	～	昭和33年	3月	31日
12代	小田 七蔵	昭和33年	3月	31日	～	昭和34年	4月	30日
13代	永久保新蔵	昭和34年	6月	4日	～	昭和35年	6月	8日
14代	竹内 三郎	昭和35年	6月	8日	～	昭和36年	8月	1日
15代	鈴木 諭吉	昭和36年	8月	1日	～	昭和37年	8月	1日
16代	中島 縞吉	昭和37年	8月	1日	～	昭和38年	4月	30日
17代	野沢 賢吉	昭和38年	5月	28日	～	昭和39年	6月	6日
18代	横溝 儀市	昭和39年	6月	6日	～	昭和40年	5月	31日
19代	水戸 邦夫	昭和40年	5月	31日	～	昭和41年	6月	1日
20代	坂本辰治郎	昭和41年	6月	1日	～	昭和42年	4月	30日
21代	竹内 正作	昭和42年	5月	26日	～	昭和43年	6月	11日
22代	岡村新三郎	昭和43年	6月	11日	～	昭和44年	6月	12日
23代	田中善八郎	昭和44年	6月	12日	～	昭和45年	6月	12日
24代	狩野 昌平	昭和45年	6月	12日	～	昭和46年	4月	30日
25代	平林 義雄	昭和46年	5月	21日	～	昭和47年	6月	7日
26代	横溝 恒次	昭和47年	6月	7日	～	昭和48年	6月	11日
27代	狩野 昌平	昭和48年	6月	11日	～	昭和49年	6月	11日
28代	佐藤 良平	昭和49年	6月	11日	～	昭和50年	4月	30日
29代	小宮 岩雄	昭和50年	5月	30日	～	昭和51年	6月	10日
30代	渡辺 謙信	昭和51年	6月	10日	～	昭和52年	6月	10日
31代	塚越 順一	昭和52年	6月	10日	～	昭和53年	6月	13日
32代	直井 健蔵	昭和53年	6月	13日	～	昭和54年	4月	30日
33代	吉田 正晴	昭和54年	5月	30日	～	昭和55年	6月	13日
34代	佐藤 大助	昭和55年	6月	13日	～	昭和56年	6月	15日
35代	湯本 良雄	昭和56年	6月	15日	～	昭和57年	6月	17日
36代	吉田 義雄	昭和57年	6月	17日	～	昭和57年	12月	24日
37代	坂本辰治郎	昭和57年	12月	24日	～	昭和58年	4月	30日
38代	平林 淳宏	昭和58年	5月	30日	～	昭和60年	6月	14日
39代	諸星 博一	昭和60年	6月	14日	～	昭和62年	4月	30日
40代	松原 隆	昭和62年	5月	29日	～	平成元年	6月	15日

代	氏名	在任期間						
41代	宮田 欣一	平成元年	6月	15日	～	平成 2年	6月	15日
42代	梅沢喜代造	平成 2年	6月	15日	～	平成 3年	4月	30日
43代	永井 敬臣	平成 3年	5月	30日	～	平成 5年	5月	31日
44代	張替 暉雄	平成 5年	5月	31日	～	平成 7年	4月	30日
45代	神林 茂	平成 7年	5月	29日	～	平成 8年	5月	29日
46代	藤田 静男	平成 8年	5月	29日	～	平成 9年	5月	29日
47代	田中 一吉	平成 9年	5月	29日	～	平成11年	4月	30日
48代	永井 敬臣	平成11年	5月	17日	～	平成12年	5月	29日
49代	近藤 忠夫	平成12年	5月	29日	～	平成13年	5月	25日
50代	河津 章夫	平成13年	5月	25日	～	平成15年	4月	30日
51代	川上 智由	平成15年	5月	23日	～	平成16年	5月	12日
52代	小原 直美	平成16年	5月	26日	～	平成17年	5月	27日
53代	水井 達興	平成17年	5月	27日	～	平成19年	4月	30日
54代	永井 敬臣	平成19年	5月	21日	～	平成22年	5月	25日
55代	高瀬 三徳	平成22年	5月	25日	～	平成23年	4月	30日
56代	高瀬 三徳	平成23年	5月	23日	～	平成26年	5月	26日
57代	安藤 充	平成26年	5月	26日	～	平成27年	4月	30日
58代	松原茂登樹	平成27年	5月	22日	～	平成28年	5月	23日
59代	大森 昭彦	平成28年	5月	23日	～	平成30年	5月	25日
60代	岸田 哲治	平成30年	5月	25日	～	平成31年	4月	30日
61代	塩野目正樹	令和元年	5月	22日	～	令和 3年	5月	27日
62代	鈴木 隆之	令和 3年	5月	27日	～			

(2) 歴代副議長

代	氏名	在任期間						
初代	吉松 貞弥	昭和22年	5月	26日	～	昭和23年	6月	25日
2代	田村 常義	昭和23年	6月	25日	～	昭和24年	5月	30日
3代	三川東九郎	昭和24年	5月	30日	～	昭和25年	5月	30日
4代	直井梅太郎	昭和25年	5月	30日	～	昭和26年	4月	29日
5代	松波松太郎	昭和26年	5月	28日	～	昭和27年	5月	29日
6代	鈴木 諭吉	昭和27年	5月	29日	～	昭和28年	6月	2日
7代	三ツ木 進	昭和28年	6月	2日	～	昭和29年	6月	1日
8代	高村 三郎	昭和29年	6月	1日	～	昭和30年	4月	30日
9代	高岡 栄馬	昭和30年	5月	26日	～	昭和31年	5月	24日
10代	早田判九郎	昭和31年	5月	24日	～	昭和32年	5月	27日
11代	小関 治	昭和32年	5月	27日	～	昭和33年	5月	30日
12代	渡辺 才一	昭和33年	5月	30日	～	昭和34年	4月	30日
13代	廣瀬 繁男	昭和34年	6月	4日	～	昭和35年	7月	9日
14代	三宅 穰	昭和35年	7月	9日	～	昭和36年	8月	1日
15代	田村 常義	昭和36年	8月	1日	～	昭和37年	8月	1日
16代	岡部 寛三	昭和37年	8月	1日	～	昭和38年	4月	30日
17代	亀石 正男	昭和38年	5月	28日	～	昭和39年	6月	6日
18代	島崎 初	昭和39年	6月	6日	～	昭和40年	5月	31日
19代	榎本 静雄	昭和40年	5月	31日	～	昭和41年	6月	1日
20代	川上 正男	昭和41年	6月	1日	～	昭和42年	4月	30日
21代	小菅 滋	昭和42年	5月	26日	～	昭和43年	6月	11日
22代	荒木桂太郎	昭和43年	6月	11日	～	昭和44年	6月	12日
23代	岡部 寛三	昭和44年	6月	12日	～	昭和45年	6月	12日
24代	島崎 初	昭和45年	6月	12日	～	昭和46年	4月	30日
25代	小菅 滋	昭和46年	5月	21日	～	昭和47年	6月	7日
26代	榎本 静雄	昭和47年	6月	7日	～	昭和48年	6月	11日
27代	根本 常章	昭和48年	6月	11日	～	昭和49年	6月	11日
28代	岡部 寛三	昭和49年	6月	11日	～	昭和50年	4月	30日
29代	橋野 淳	昭和50年	5月	30日	～	昭和51年	6月	10日
30代	園部 恭平	昭和51年	6月	10日	～	昭和52年	6月	10日
31代	高橋 正芳	昭和52年	6月	10日	～	昭和53年	6月	13日
32代	大野 進見	昭和53年	6月	13日	～	昭和54年	4月	30日
33代	桑原 春蔵	昭和54年	5月	30日	～	昭和55年	6月	13日
34代	橋野 淳	昭和55年	6月	13日	～	昭和56年	6月	15日
35代	高橋 正芳	昭和56年	6月	15日	～	昭和57年	6月	17日
36代	南条 弘吉	昭和57年	6月	17日	～	昭和58年	4月	30日
37代	藤江 三平	昭和58年	5月	30日	～	昭和59年	6月	7日
38代	佐野雅一郎	昭和59年	6月	7日	～	昭和60年	6月	14日
39代	斉藤 文男	昭和60年	6月	14日	～	昭和61年	6月	13日
40代	野沢 登	昭和61年	6月	13日	～	昭和62年	4月	30日

代	氏名	在任期間						
41代	高橋 正芳	昭和62年	5月	29日	～	昭和63年	6月	10日
42代	斉藤 文男	昭和63年	6月	10日	～	平成 2年	6月	15日
43代	野沢 登	平成 2年	6月	15日	～	平成 3年	4月	30日
44代	五十嵐雅夫	平成 3年	5月	30日	～	平成 4年	5月	29日
45代	溝口 誠	平成 4年	5月	29日	～	平成 5年	5月	31日
46代	有川 靖夫	平成 5年	5月	31日	～	平成 6年	5月	31日
47代	亀山 幸正	平成 6年	5月	31日	～	平成 7年	4月	30日
48代	田口 仁	平成 7年	5月	29日	～	平成 8年	5月	29日
49代	星野 仁	平成 8年	5月	29日	～	平成 9年	5月	29日
50代	飯島修一郎	平成 9年	5月	29日	～	平成10年	5月	29日
51代	荒川 善夫	平成10年	5月	29日	～	平成11年	4月	30日
52代	高橋 博	平成11年	5月	17日	～	平成12年	5月	29日
53代	飯田 茂	平成12年	5月	29日	～	平成13年	5月	25日
54代	富田 俊一	平成13年	5月	25日	～	平成14年	5月	30日
55代	溝口 誠	平成14年	5月	30日	～	平成15年	4月	30日
56代	有川 靖夫	平成15年	5月	23日	～	平成16年	5月	26日
57代	田口 仁	平成16年	5月	26日	～	平成17年	6月	8日
58代	荒川 善夫	平成17年	6月	8日	～	平成18年	5月	29日
59代	高橋 博	平成18年	5月	29日	～	平成19年	4月	30日
60代	飯田 茂	平成19年	5月	21日	～	平成20年	5月	23日
61代	清波 貞子	平成20年	5月	23日	～	平成21年	5月	25日
62代	古山 昌子	平成21年	5月	25日	～	平成22年	5月	25日
63代	渡部登志雄	平成22年	5月	25日	～	平成23年	4月	30日
64代	富田 俊一	平成23年	5月	23日	～	平成24年	5月	24日
65代	松本 洋之	平成24年	5月	24日	～	平成25年	5月	24日
66代	丸山 かよ	平成25年	5月	24日	～	平成26年	5月	26日
67代	清波 貞子	平成26年	5月	26日	～	平成27年	4月	30日
68代	松本 洋之	平成27年	5月	22日	～	平成28年	5月	23日
69代	勝亦 聡	平成28年	5月	23日	～	平成29年	5月	25日
70代	岡元 由美	平成29年	5月	25日	～	平成30年	5月	25日
71代	勝亦 聡	平成30年	5月	25日	～	平成31年	4月	30日
72代	岡元 由美	令和元年	5月	22日	～	令和 2年	5月	27日
73代	広川恵美子	令和 2年	5月	27日	～	令和 3年	5月	27日
74代	岡元 由美	令和 3年	5月	27日	～	令和 4年	5月	27日
75代	田村 英樹	令和 4年	5月	27日	～			

(3) 歴代議員選出監査委員

氏 名		同意年月日
桜井 哲郎		昭和22年 7月 28日
松原 茂一	岸田 交三	昭和24年 9月 21日
久保井良輔	成田 勇司	昭和26年 5月 30日
門倉 傳造	広瀬 繁男	昭和27年 5月 29日
松橋 一誠		昭和29年 6月 1日
岸田 交三		昭和30年 5月 28日
吉岡権之助		昭和31年 5月 24日
水戸 邦夫		昭和32年 5月 27日
平林 金藏		昭和33年 5月 30日
横溝 儀市		昭和34年 6月 9日
水戸 邦夫		昭和35年 6月 9日
園部 恭平		昭和36年 8月 1日
和田 新作		昭和37年 8月 1日
三ツ谷光勇		昭和38年 5月 30日
坂本辰治郎	園部 恭平	昭和39年 6月 6日
直井梅太郎	桑原 春蔵	昭和40年 5月 31日
網嶋 源藏	建 俊一	昭和41年 6月 1日
網嶋 金藏	茂呂 広	昭和42年 5月 27日
野沢 賢吉	尾崎フミエ	昭和43年 6月 12日
伊藤 憲一	萩原 通男	昭和44年 6月 12日
松波松太郎	石井 光義	昭和45年 6月 12日
橋野 淳	松原 忠雄	昭和46年 5月 22日
大野 進見	池山 鉄夫	昭和47年 6月 7日
南条 弘吉	渋谷 要	昭和48年 6月 11日
高橋 正芳	伏見 一喜	昭和49年 6月 11日
坂本辰治郎	田村 忠男	昭和50年 5月 30日
水戸 邦夫	木部美穂子	昭和51年 6月 10日
横溝 恒次	織田 純忠	昭和52年 6月 10日
平林 義雄	伊藤 憲一	昭和53年 6月 13日
佐藤 良平	西澤 正一	昭和54年 6月 15日
塚越 順一	松原 忠雄	昭和55年 6月 13日
小宮 岩雄	高崎 秀雄	昭和56年 6月 15日
吉田 正晴	木部美穂子	昭和57年 6月 17日
小林 裕	渋谷 要	昭和58年 5月 30日
小菅 滋	小関 直彦	昭和59年 6月 15日
佐藤 大助	丹羽 正明	昭和60年 6月 14日
湯本 良雄	田村 忠男	昭和61年 6月 13日
野沢 登	石井 賢二	昭和62年 5月 29日
諸星 博一	若林 克弥	昭和63年 6月 10日
竹内 重雄	金子 典子	平成元年 6月 15日

氏 名		同意年月日
亀山 幸正	間明 幸造	平成 2年 6月 15日
松原 隆	斉藤 文男	平成 3年 5月 30日
平林 淳宏	田口 仁	平成 4年 5月 29日
梅沢喜代造	石井 賢二	平成 5年 5月 31日
永井 敬臣	金子 典子	平成 6年 5月 31日
張替 暉雄	五十嵐雅夫	平成 7年 5月 29日
有川 靖夫	間明 幸造	平成 8年 5月 29日
神林 茂	溝口 誠	平成 9年 5月 29日
藤田 静男	小林 裕	平成10年 5月 29日
松原 隆	飯島修一郎	平成11年 5月 17日
荒川 善夫		平成12年 5月 29日
森 脩		平成12年 5月 30日
田中 一吉	高橋 博	平成13年 5月 25日
近藤 忠夫	岡崎 幸夫	平成14年 5月 30日
永井 敬臣	飯田 茂	平成15年 5月 23日
河津 章夫	富田 俊一	平成16年 5月 26日
田中 一吉	清波 貞子	平成17年 5月 27日
小原 直美	古山 昌子	平成18年 5月 29日
近藤 忠夫	渡部登志雄	平成19年 5月 21日
松本 洋之		平成20年 5月 23日
丸山 かよ		平成21年 5月 25日
溝口 誠		平成22年 5月 25日
田中 一吉	岡元 由美	平成23年 5月 23日
水井 達興	勝亦 聡	平成24年 5月 24日
富田 俊一		平成25年 5月 24日
大森 昭彦		平成25年 6月 21日
岸田 哲治	飯田 茂	平成26年 5月 26日
高瀬 三徳	広川恵美子	平成27年 5月 22日
安藤 充	秋成 靖	平成28年 5月 23日
松原茂登樹	大橋 武司	平成29年 5月 25日
伊藤 和弘	田村 英樹	平成30年 5月 25日
押見 隆太	玉川 英俊	令和元年 5月 22日
田中 一吉	椿 真一	令和 2年 5月 27日
押見 隆太	松本 洋之	令和 3年 5月 27日
塩野目正樹	田島 和雄	令和 4年 5月 27日

4 予算等

(1) 議会費 (当初予算)

(単位 千円)

科目	令和4年度			令和3年度		
	議会費	事務局費	計	議会費	事務局費	計
報酬	344,450	0	344,450	381,188	0	381,188
給料	0	74,219	74,219	0	71,837	71,837
職員手当等	161,859	69,657	231,516	185,112	67,649	252,761
共済費	106,067	28,913	134,980	122,976	27,999	150,975
報償費	810	50	860	958	50	1,008
旅費	21,398	1,914	23,312	23,382	1,943	25,325
交際費	3,100	0	3,100	3,100	0	3,100
食糧費	34	42	76	34	42	76
一般需用費	15,685	1,633	17,318	18,328	1,535	19,863
役務費	20,946	217	21,163	21,438	289	21,727
委託料	31,460	3,013	34,473	30,270	3,743	34,013
使用料及び賃借料	4,398	418	4,816	4,287	451	4,738
工事請負費	0	0	0	45,254	0	45,254
備品購入費	0	0	0	164	0	164
負担金、補助及び交付金	124,286	3,568	127,854	138,096	3,654	141,750
合計	834,493	183,644	1,018,137	974,587	179,192	1,153,779

(2) 議員報酬

令和2年1月1日から適用

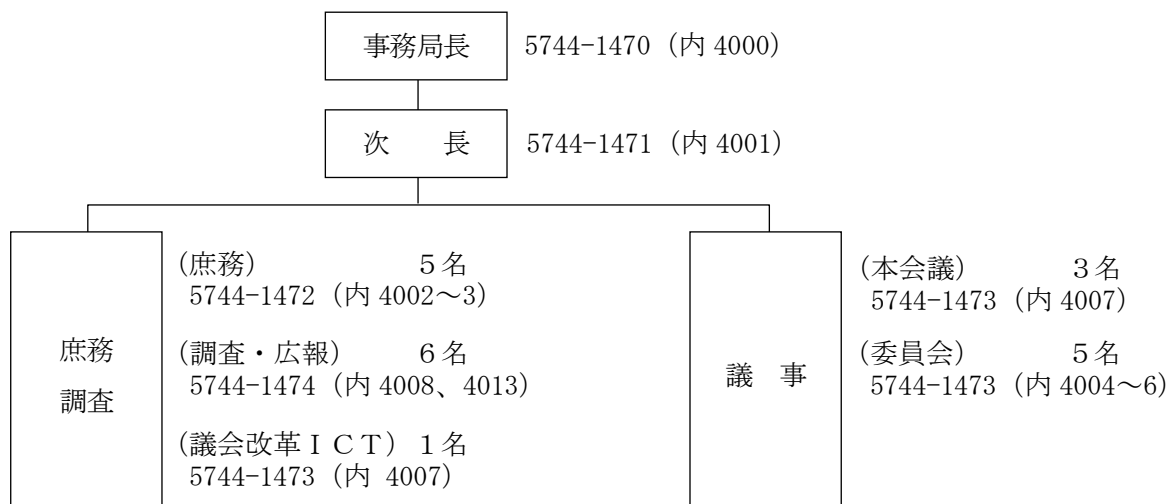
(単位 円)

区分	月額
議長	928,800
副議長	783,500
委員長	658,000
副委員長	631,200
議員	612,300

(3) 議会刊行物

種 類	発行回数	印刷部数	配 布 先
会議録	5回 (本会議開催の都度)	50部/回	議員、理事者、図書館等
区議会だより	5回 (本会議開催の都度)	145,740部/回	議員、区内の朝日、産経、東京、日経、毎日、読売の各新聞に折り込み、特別出張所、図書館、広報スタンド、区立中学校3年生等
声の区議会だより	5回 (本会議開催の都度)	CD42枚/回	視聴覚障害者1、2級の身体障害者及びこれに準ずる方 (※要申し込み)
区議会年報	1回	80部	議員、図書館等
請願・陳情文書表	4回(定例会の都度)	110部/回	議員、理事者等
議員名簿	1回(7月)	850部	議員、理事者等
区議会ガイドブック	1回	5,000部	議員、図書館、区立中学校3年生等

5 事務局（組織図と分掌事務） 令和4年12月31日現在



- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 秘書に関すること。
- (3) 文書の受発及び保管に関すること。
- (4) 人事及び給与に関すること。
- (5) 経理に関すること。
- (6) 議員報酬及び費用弁償に関すること。
- (7) 議員共済会に関すること。
- (8) 議案等の調査に関すること。
- (9) 議会制度調査、各種の調査並びに資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (10) 議会関係法規に関すること。
- (11) 各種統計に関すること。
- (12) 議会広報に関すること。
- (13) 議会図書室に関すること。
- (14) 前各号のほか他に属しないこと。

- (1) 本会議に関すること。
- (2) 委員会に関すること。
- (3) 会議録の調製に関すること。
- (4) 請願、陳情の受理及び処理に関すること。
- (5) その他会議に関すること。

令和5年3月発行

**おおた区議会年報
令和4年（2022年）版**

発 行 大田区議会
編 集 大田区議会事務局
〒144 - 8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話 (03) 5744 - 1474